

令和7年度
事業報告書



社会福祉法人
寝屋川市社会福祉協議会

目次

令和7年度事業の総括	1
1. 小地域福祉活動推進事業	2
2. まちかど福祉相談所拡充事業	8
3. 緊急時安否確認(かぎ預かり)事業	12
4. 重層的支援体制整備事業<市からの受託事業>	14
5. 地域支え合い推進事業(生活支援体制整備事業)<市からの受託事業>	16
6. ボランティアセンター事業	21
7. 福祉教育推進事業	31
8. 当事者組織支援事業	36
9. 献血推進事業	39
10. 福祉有償運送事業	40
11. 車イス貸出し事業	43
12. 元気アップ介護予防ポイント事業 <市からの受託事業>	44
13. 救急医療情報キット普及事業 <市からの受託事業>	47
14. 福祉総合相談事業	48
15. 赤い羽根共同募金事業	50
16. 歳末たすけあい運動事業	52
17. 広報事業	56
18. 調査・研究事業	59
19. 生活困窮者自立支援事業 <市からの受託事業>	62
20. 生活福祉資金貸付事業<府社協からの受託事業>	67
21. 生活緊急支援金給付事業	69
22. 日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業)<府社協からの受託事業>	70
23. 善意銀行事業	74
24. 法人運営・基盤強化事業	75
25. 大阪府共同募金会寝屋川地区募金会の運営	92
26. 地域福祉活動計画の推進	93
27. 地域福祉活動計画の策定	93

表中表記の見方

- 本文の表中にある「△」表記は、マイナスを示します。
- 本文の表中にある(△7)等のカッコを付けた数字表記は、前年実績と比較しての増減を示します。
例えば、表のひとつの枠内に 8(△5)とある場合は、本年度実績が「8」で、前年実績と比べて「マイナス 5」であることを示しています。
- 同じく表中で使用する「－」表記はゼロを指します。
例えば、表のひとつの枠内に 6(－)とある場合は、本年度実績が 6 で、前年実績も 6 であったため、前年比がゼロであったことを示しています。
- 本文にある「V」は「ボランティア」の略字です。
- 本文にある「VC」は「ボランティアセンター」の略字です。
- 本文にある「CSW」は「コミュニティソーシャルワーカー」の略字です。
- 本文にある「CoW」は「コミュニティワーカー」の略字です。

令和7年度事業の総括

1 おもな成果

- (1) 子どもたちにボランティア活動のきっかけをつくる「ボランティアポイント（ぼらポ）事業」は、3校区でモデル事業を実施し 100 人を超える子どもたちが地域で活躍しました。子どもやその保護者からは「またやりたい」「もっと長く活動したい」や、「ボランティアについて家族で話し合いができた」といった声が寄せられ、地域福祉活動に継続的に参加しようとする芽生えが見られました。
- (2) 赤い羽根共同募金事業では、災害時に障害のある人の暮らしを支える備品等の整備を目的に新たに「テーマ型募金」に取り組みました。福祉活動財源の確保に向けた取り組みとして今後の発展を図っていきます。
- (3) 令和8年度から12年度までの5年の間に「民」の力をひろげ、「公」とも連携した地域福祉を推進する計画として、第4次寝屋川市地域福祉活動計画を策定しました。地域の多くの人や団体と関係性が深まり、これからの地域福祉活動が大きく飛躍するための財産となりました。

2 課 題

- (1) 重層的支援体制整備事業では、複合多問題を抱える人や世帯に関わる支援機関との連携を深めるとともに、社協内においても重層的な連携を強化し、地域や社会のなかでつながりをつくる取り組み（参加支援事業）を一層広げていく必要があります。
- (2) 移送サービス事業や外出援助サービス事業では、その運転や介助、事務を担うボランティアが減少の一途を辿っています。ボランティア活動として実施する福祉有償運送事業のあり方を再検討する必要があります。
- (3) 社協会員募集は、会費額、会員数ともに減少しています。地域福祉活動を財源から支える取り組みである会員募集実施方法の見直しをはかるとともに、今日まで培った地域福祉活動を今一度伝え、共感を得られるよう努めます。
- (4) 日常生活自立支援事業では、認知症や障害のある方など判断能力に不安のある方を支える取り組みを進めています。意思決定を支援するための更なる権利擁護の充実を図っていく必要があります。

1. 小地域福祉活動推進事業

地域の高齢者、障害(児)者及び子育て中の親子等、支援を必要とするすべての人が安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合い、助け合い活動を概ね小学校区（校区福祉委員会）で推進しました。

重点項目	評価(成果と効果)
1. 校区福祉委員長協議会で検討を重ねた「孤独・孤立を防ぐ 5 大プロジェクト」のうち、見守り力向上プロジェクトの推進 2. 見守りハンドブック活用の推進	見守りハンドブックは 23 校区で製作に着手し、16 校区で完成しています。校区福祉委員長協議会において、ハンドブックの継続的な活用促進と見守り協力員の役割の明確化を引続きすすめます。

(1) 校区福祉委員会活動推進事業(全市レベルで行う校区福祉委員会に関連する事業)

①校区福祉委員長協議会の開催(開催回数:6回)

第1回 5月8日(木) 20 校区出席

- 〔1〕 事務局職員人事および校区担当について
- 〔2〕 令和7年度校区福祉委員長について
- 〔3〕 敬老記念式典における表彰者の推薦要領について
- 〔4〕 まちかど福祉相談員養成研修会開催要項について
- 〔5〕 ボランティア体験プログラム開催要項について
- 〔6〕 運転協力者（福祉・セダン）認定講習会開催要項について
- 〔7〕 見守りハンドブックの情報共有について（意見交換）
- 〔8〕 会員募集中間報告について
- 〔9〕 緊急時安否確認に関する状況報告について
- 【配付】 敬老記念式典表彰者推薦関係様式
- 【配付】 ボランティアセンター通信第150号
- 【配付】 ねやがわ子育てナビ
- 【配付】 運転協力者（福祉・セダン）認定講習会チラシ
- 【配付】 ぼら子どもまつりキッズキャスト募集チラシ

第2回 7月1日(火) 23 校区出席

- 〔1〕 ひとり暮らし高齢者名簿の配付について
- 〔2〕 赤い羽根共同募金運動実施要項について
- 〔3〕 敬老記念式典における表彰者の推薦状況と推薦後の流れについて
- 〔4〕 災害ボランティア養成講座 開催要項について
- 〔5〕 第4次地域福祉活動計画策定に向けた意見交換
- 〔6〕 ひきこもり支援セミナーについて
- 【配付】 ひとり暮らし高齢者名簿
- 【配付】 ひとり暮らし高齢者名簿受領書
- 【配付】 ボランティアセンター通信第151号

【配付】令和 6 年度 校区福祉委員会活動概況一覧

【配付】令和 6 年度 CSW 活動報告書

【配付】令和 7 年度 ボランティア体験プログラム チラシ

第 3 回 9 月 1 日(月) 22 校区出席

- 〔1〕 歳末たすけあい運動実施要項について
- 〔2〕 共同募金テーマ型募金実施要項について
- 〔3〕 第 4 次地域福祉活動計画ヒアリング（意見交換）の実施

【配付】運転協力者認定講習会チラシ

【配付】ボランティアセンター通信第 152 号

【配付】ものわすれ？認知症かも…と思ったら～認知症にそなえるケアパス～

第 4 回 11 月 4 日(火) 23 校区出席

- 〔1〕 令和 8 年度社会福祉協議会会員募集実施要項について
- 〔2〕 令和 7 年度ボランティア講座開催要項について
- 〔3〕 令和 7 年度校区福祉委員会指導者研修会
- 〔4〕 見守りハンドブック進捗状況について（意見交換）
- 〔5〕 赤い羽根共同募金運動街頭募金の実績報告について
- 〔6〕 緊急時安否確認に関する状況報告について
- 〔7〕 災害時における地域丸ごと座談会の実施報告について
- 〔8〕 令和 7 年度小地域ネットワークリーダー研修会について

【配付】ボランティアセンター通信第 153 号

【配付】運転協力者認定講習会チラシ

【配付】高齢者サポートセンターより『高齢者の生活支援活動の説明会』チラシ

第 5 回 1 月 8 日(木) 21 校区出席

- 〔1〕 子育てサロン担当者交流会開催要項について
- 〔2〕 まちかど福祉相談員現任研修会開催要項について
- 〔3〕 福祉広報研修会開催要項について
- 〔4〕 見守りハンドブックの進捗状況について
- 〔5〕 小地域ネットワークリーダー研修会の実践報告について
- 〔6〕 赤い羽根共同募金運動実績報告について
- 〔7〕 歳末たすけあい運動街頭募金の実績報告について
- 〔8〕 地域福祉活動計画策定の進捗状況について

【配付】ボランティアセンター通信第 154 号

【配付】『さあ、やろう』 *公益財団法人さわやか福祉財団からの依頼

【配付】令和 7 年度共同募金テーマ型募金チラシ

【配付】第 10 回寝屋川ハート・アート展チラシ

第6回 3月3日(火) 23 校区出席

- 〔1〕 令和8年度 ひとり暮らし高齢者調査について
 - 〔2〕 校区福祉委員会 各種書類の提出について
 - 〔3〕 令和8年度 福祉学習説明会について
 - 〔4〕 ボランティア講座シニア編開催要項について
 - 〔5〕 見守りハンドブックの今後の活用について（意見交換）
 - 〔6〕 歳末たすけあい運動募金実績報告について
 - 〔7〕 令和8年度 地域献血日程について
 - 〔8〕 令和8年度 ボランティアポイント（ぼらぽ）モデル事業の取り扱いについて
- 【配付】ひとり暮らし高齢者調査様式一式
- 【配付】校区福祉委員会各種提出書類
- 【配付】ボランティアセンター通信第155号
- 【配付】登録ボランティアグループ紹介冊子
- 【配付】ボランティア保険様式
- 【配付】第9中学校区地域包括支援センター移転のお知らせ
- 【配付】寝屋川市認知症施策推進計画策定のためのアンケート
- 【配付】かかりつけ医療機関安心MAP *医師会からの依頼
- 【配付】『ヤクルト健康セミナーチラシ』 *千成ヤクルト販売会社からの依頼

② 小地域ネットワーク推進委員会の開催(開催回数:1回)

第1回 2月12日(木) 19人出席

- 〔1〕 オリエンテーション
- 〔2〕 委嘱状および正副委員長の選任について
- 〔3〕 小ネット推進委員会の経過について
- 〔4〕 見守りハンドブックの活用、作成状況について（意見交換）
- 〔5〕 見守り協力員の定義について（検討）
- 〔6〕 その他

③ 子育てサロン担当者交流会(開催回数:1回)

実施日 3月4日(水)

会場 子育てリフレッシュ館 RELATTO（リラット） セミナールーム

参加数 40人

内容 実践 「親子の輪を広げる手遊び」学びの時間
「寝屋川市の切れ目のない支援について」

意見交換 「今後の子育てサロンが出来ることや工夫を考える」

講師 子育てリフレッシュ館職員
おやこほっとステーション（子育て支援課）職員
たんぽぽ保育所子育て支援センター 職員

④ 校区福祉委員会ボランティア部会長会の開催(開催回数:6回)

第1回 4月15日(火) 23校区+ボランティア相談員2人

- 〔1〕新ボランティア部会長の紹介
- 〔2〕校区ボランティア部会長会の役割
- 〔3〕ボランティア講座(入門編)の取り扱いについて
- 〔4〕令和6年度活動報告・令和7年度活動計画について
- 〔5〕ボランティアセンターからのお知らせ
 - ①ボランティアセンター通信150号について

第2回 6月24日(火) 20校区+ボランティア相談員2人

- 〔1〕新ボランティア部会長の紹介
- 〔2〕第12回やってみよう会
- 〔3〕令和7年度活動計画について
- 〔4〕防災デーの検討
- 〔5〕ボランティアセンターからのお知らせ
 - ①ボランティアセンター通信151号について
 - ②夏のボランティア体験プログラムについて

第3回 8月26日(火) 22校区+ボランティア相談員2人

- 〔1〕防災デー(災害準備コント)の実施
- 〔2〕研修の検討
- 〔3〕ボランティアセンターからのお知らせ
 - ①ボランティアセンター通信152号について
 - ②夏のボランティア体験プログラムについて

第4回 10月28日(火) 20校区+ボランティア相談員2人

- 〔1〕やってみよう会
- 〔2〕研修の検討
- 〔3〕ボランティアセンターからのお知らせ
 - ①ボランティアセンター通信153号について

第5回 12月16日(火) 20校区+ボランティア相談員2人

- 〔1〕研修会「認知症の対応とオレンジチームの活動」
- 〔2〕ボランティアセンターからのお知らせ
 - ①ボランティアセンター通信154号について
 - ②今後の予定

第6回 2月24日(火) 23校区+ボランティア相談員2人

- 〔1〕やってみよう会

〔2〕研修の報告

〔3〕ボランティアセンターからのお知らせ

①ボランティアセンター通信 155 号について

②ボッチャ・モルックの貸出しについて

〔4〕語ろう会 ～今こんな感じやで～

〔5〕その他

- ・ 令和 8 年度年間予定
- ・ 令和 8 年度年間計画
- ・ 役員改選

⑤ 校区福祉委員研修会の開催

〔1〕校区福祉委員会指導者研修会

開 催 日 12 月 8 日(月)

参 加 数 34 人

内 容 【講 義】地域福祉活動における情報共有方法と重要性について

【実践紹介】校区福祉委員会の取組み紹介

【意見交換】自身の校区で取組んでいることなどの意見交換

講 師 社会福祉法人大阪ボランティア協会 青山 織衣 氏

西校区福祉委員会 副委員長 上田 憲夫 氏

書記 安井 光一 氏

⑥ 個別ケース検討会議の開催

コミュニティソーシャルワーカー(CSW)が、校区の実情に併せてまちかど福祉相談員連絡会等を活用して開催しました。

⑦ 事例研究会の実施(開催回数:3 回)

コミュニティワーク(CoW)、コミュニティソーシャルワーク(CSW)を担う事務局職員の専門性の向上を目的として研究者を講師として実施しました。

* コミュニティワーク

住民が地域生活を営む上で生じる様々な問題に、住民自身が主体的・組織的に取り組むと共に、問題解決に必要な資源の調達や連携を図っていく過程を援助する社会福祉の方法。

* コミュニティソーシャルワーク

支援を必要とする人に対して、地域を基盤とする活動やサービスを結びつけることや新たなサービスの開発、また、公的制度の活用も視野に入れた支援を総合的に行っていく個別支援と地域支援の方法。

実 施 日 第 1 回 8 月 29 日(金)

事例「8050 問題を抱える世帯への支援＋長年ひきこもり状態にある本人の支援」

第 2 回 10 月 31 日(金)

事例「小さなつながりのこれから ～子ども・ボランティア・社協の物語～」

第3回 12月19日(金)

事例「シングルマザーの世帯・将来に向けた関わり方」

講師 大阪公立大学大学院 准教授 鷗浦 直子 氏

⑧ コミュニティワーク(CoW)業務研究会(開催回数:2回)

校区福祉委員会活動を中心とした地域支援の事例研究を通じ、事務局職員として地域福祉の推進(福祉課題を抱える人を支える地域づくり)方策を探ることを目的として研究者を講師として実施する。

実施日 第1回 8月1日(金)

事例「自治会未加入のマンションとの確執が強い地域への働きかけ方」

第2回 9月19日(金)

事例「自治会の新たな買い物支援の仕組みづくり」

講師 佛教大学 准教授 金田 喜弘 氏

⑨ 寝屋川ふくし発見プラン助成金事業(助成団体数:1校区)

校区福祉委員会が自主性・自発性、創意工夫を発揮して、新たな事業の立ち上げや充実を図ることを通じ「地域の福祉力」を高めています。

<啓明校区福祉委員会>

内容 星空映画観賞会

ボランティア活動の振興を図るため、「ボランティアポイント事業」を活用して、星空映画観賞会を開催する。

助成額 100,000 円

⑩ 寝屋川市子ども食堂連絡会議の支援(実施回数:2回)

実施日 8月26日(火)

参加数 18人

内容 [1]「自立運営に向けた『子どもの居場所づくり』について」
[2] 子ども食堂連絡会議のルール作成

講師 NPO 法人キリンこども応援団 代表理事 水取 博隆 氏

実施日 1月29日(木)

参加数 20人

内容 [1] 研修「子ども食堂における食品の衛生管理」
[2] 活動団体からの取り組み発表(かえでごはん、子ども食堂「ひまわり」)
[3] グループワーク
①子どもたちが安全で安心でいる場所について
②子ども食堂でこれからやってみたいこと

講師 寝屋川市健康づくり推進課

2. まちかど福祉相談所拡充事業

地域における見守り・発見・相談・つなぎのセーフティネット体制づくりを行います。また、制度の狭間や複数の福祉課題を抱えるなど、既存の福祉サービスだけでは困難な問題に対し、新たなサービスや仕組みの開発を行うとともに相談の充実を図りました。

重点項目	評価(成果と効果)
1. 制度につながらず自らSOSを出せない地域住民へのアプローチ実施に向けた取り組み 2. これからのまちかど福祉相談所のあり方検討会の実施	まちかど福祉相談所現任研修会でこれからのあり方に関する意見交換を行うとともに、相談のハードルを下げるため「スマホの使い方」をテーマにした出張相談会を開催するなど、困りごとの早期発見に向けた取り組みを実施しました。

(1) まちかど福祉相談所の実施

① まちかど福祉相談所相談員養成研修会の実施

まちかど福祉相談所相談員として活動に関わる相談員を養成することを目的に実施しました。また、未修了者を対象に追加講座を開催しました。

実施日 6月18日(水)、7月2日(水)、8月7日(木)(追加講座)

会場 保健福祉センター 健康指導室 他

修了数 22人

内容 [1]まちかど福祉相談所の取り組み紹介

[2]話を聴くためのコミュニケーション技法を学ぶ

講師:佐々木 優水 氏

[3]福祉制度・相談窓口について

関係機関の資料を配布し、関係職員から制度や他機関の概要を学びました。

[4]ワークとふりかえり

2日間で学んだことを活かしながらワークに取り組み、実践に役立つ知識・技能の習得を目指しました。

② まちかど福祉相談所相談員現任研修会の実施

実施日 2月20日(金)

会場 市民会館 第一会議室

参加数 30人

内容 [1]まちかど福祉相談所のこれまでの取り組み報告

[2]地域生活課題の解決に向けた相談所の役割と機能

講師:摂南大学現代社会学部 講師 上野山 裕士 氏

[3]グループワーク(まちかど福祉相談所の強みや課題、理想の相談所像等について意見交換

③エリア別まちかど福祉相談所相談件数

対象者及び内容		西北	南	東北	西	東	西南	計
対象者	高齢者	20 (13)	53 (5)	50 (23)	16 (△12)	40 (3)	20 (△19)	199 (13)
	障害者	2 (△4)	9 (1)	9 (2)	25 (19)	1 (-)	1 (△1)	47 (17)
	子ども	- (-)	- (△3)	1 (-)	1 (1)	1 (1)	3 (2)	6 (1)
	* その他	5 (-)	11 (△7)	- (△6)	53 (20)	11 (8)	4 (△7)	84 (8)
計		27 (9)	73 (△4)	60 (19)	95 (28)	53 (12)	28 (△25)	336 (39)
相談内容	高齢者関係	20 (11)	55 (-)	50 (19)	16 (△24)	40 (3)	20 (△19)	201 (△10)
	障害者関係	5 (△3)	9 (△1)	9 (7)	36 (24)	4 (3)	1 (△2)	64 (28)
	子育て・子どもの教育関係	- (-)	- (△3)	1 (△1)	1 (1)	1 (1)	3 (2)	6 (-)
	母子(父子)家庭関係	- (-)	- (△2)	- (△1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (△3)
	DV被害関係	- (△1)	- (-)	- (△1)	2 (△1)	- (-)	- (-)	2 (△3)
	ホームレス関係	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	外国人関係	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	福祉制度関係	13 (2)	13 (△9)	13 (2)	- (△3)	20 (1)	8 (△14)	67 (△21)
	生活費関係	8 (1)	1 (-)	13 (6)	7 (3)	3 (2)	1 (△10)	33 (2)
	住宅関係	7 (4)	5 (1)	4 (△2)	11 (4)	4 (△4)	3 (△1)	34 (2)
	地域福祉・V活動関係	- (△1)	8 (△8)	- (△4)	- (△4)	5 (3)	3 (△4)	16 (△18)
	健康相談関係	5 (3)	5 (△7)	1 (△4)	5 (△8)	6 (3)	2 (△1)	24 (△14)
	その他	15 (2)	27 (7)	25 (17)	60 (35)	17 (8)	8 (△2)	152 (67)
計		73 (18)	123 (△22)	116 (38)	138 (27)	100 (20)	49 (△51)	599 (30)
相談所開催日数		47 (-)	89 (-)	57 (△1)	81 (△11)	64 (1)	90 (1)	428 (△10)

*相談内容「その他」の主な内容

有償活動、近隣トラブル、家族トラブル、地域のごみ集積所、相続、後見制度、就労、見守り活動、生き方、作業所の出来事、スマホの操作方法についてなど

(2) まちかど福祉相談所拡充事業の実施

各エリア	主な取り組み
① 西北エリア 開催回数 47 回	【西北まちかど福祉相談所】 47 回 ・ 西北まちかど福祉相談所運営委員会 10 回 ・ 出張相談の実施(石津東町自治会館、田井西町自治会公民館) 2回 ・ 夏季集中見守り活動の推進 ・ 西北まちかど福祉相談員交流会
② 南エリア 開催回数 89 回	【木田校区まちかど福祉相談所】 11 回 【木田校区かやしま福祉相談所】 8 回 【堀溝ほほえみなんでも相談所】 49 回 ・堀溝ほほえみなんでも相談所相談員連絡会 3 回 【“みなみ”なんでも福祉相談所】 10 回 【楠根まちかど相談処“わいわい”】 11 回
③ 東北エリア 開催回数 57 回	【第五まちかど福祉相談所】 20 回 ・出張相談の実施(成田東町自治会館、成田町自治会館) 2回 ・スマホ相談会(東北コミュニティセンター)の実施 1回 ・第五まちかど福祉相談所の今後に向けての話し合い 3回 【宇谷まちかど福祉相談所】 12 回 【三井まちかど福祉相談所】 25 回
④ 西エリア 開催回数 81 回	【西校区あったか何でも相談所】 43 回 ・西校区あったか何でも相談所相談員連絡会 12 回 【池の里まちかどなんでも相談所】 38 回 ・出張相談の実施(第八中学校校区地域包括支援センター) 12 回 ・池の里まちかどなんでも相談所相談員連絡会 4 回 ・池の里まちかどカフェ 4 回
⑤ 東エリア 開催回数 64 回	【梅が丘まちかど福祉相談所】 38 回 ・梅が丘まちかど相談員連絡会 4 回 【明和まちかど福祉相談所】 11 回 【中央まちかど福祉相談所】 15 回 ・中央まちかど福祉相談所相談員連絡会 12 回 ・出張相談の実施(幸町東自治会集会所・平池会館・八坂町公民館) 3 回
⑥ 西南エリア 開催回数 90 回	【和光まちかどふくし相談所】 48 回 ・和光まちかどふくし相談所連絡会 12 回 【西南エスポアールまちかど福祉相談所】 42 回 ・西南エスポアールまちかど相談所運営委員会 6 回 ・西南エスポアールまちかど相談所相談員合同研修 2 回 ・出張相談の実施(上神田公民館、下神田公民館、黒原旭町公民館、対馬江公民館) 4 回

(3) コミュニティソーシャルワーカー(CSW)連絡会の開催

個別の支援や地域の支援など、福祉課題を抱える人を地域で支える仕組みづくりのために、情報共有や問題解決の方策等について定期的に話し合いました。

開催回数 11 回

3. 緊急時安否確認(かぎ預かり)事業

ひとり暮らし高齢者の孤立死等の事故を予防することを目的とした緊急時安否確認(かぎ預かり)の仕組みを、全エリアの校区福祉委員会、市内 21 か所の福祉施設と協力して実施しました。

本事業は、65 歳以上でひとり暮らしの利用希望者から鍵を預かり、緊急事態と思われるときに、鍵を使って家屋内に入り安否確認等を行うものです。

重点項目	評価(成果と効果)
1. 新聞・配達等訪問型事業者との連携に向けた意見交換会の開催 2. 21 協力施設会議の開催	新聞・配達等訪問型事業者と連携した安否確認を校区福祉委員会とともに 4 件対応しました。 21 協力施設会議において、協力施設の人員配置や外国人人材の増加等の状況を踏まえたマニュアル改訂など、意見交換を実施しました。

(1) かぎ預かり利用者数

利用者数	新規申込	解約
890 人(△7)	87(3)	94(△6)

(2) 緊急対応の状況

対応件数 15 件(鍵使用 15 件／鍵未使用-件)

緊急対応時間帯	対応数	緊急対応の状況	対応数
午前(8 時～12 時)	5	救急搬送	1
午後(12 時～18 時)	10	死亡	1
夜間(18 時～21 時)	-	在宅	4
深夜・早朝(21 時～8 時)	-	入院中(外出中)	1
計	15	鍵の紛失	7
		その他	1
		計	15

(3) 21 協力施設合同会議

開催日 3 月 26 日(木)

会 場 保健福祉センター 会議室 1.2

参加数 11 施設(16 人)

内 容 [1]「緊急時安否確認(かぎ預かり)事業」の現状について(報告)
[2] 報告と依頼
[3] 各施設の現状と工夫について(意見交換)

緊急時安否確認(かぎ預かり)事業 かぎ保管協力 21 施設一覧

【社会福祉法人 14 施設、医療法人 3 施設、株式会社 4 施設】

エリア	校区	法人名	施設区分	施設名
西北	木屋	社会福祉法人 香西会	特別養護老人ホーム	香西園
	北	社会福祉法人 広成福祉会	特別養護老人ホーム	香里寿苑
	石津	社会福祉法人 たちばな会	特別養護老人ホーム	寝屋川石津園
	田井			
南	木田	株式会社 カームネスライフ	グループホーム	ここから木田元宮
	楠根	社会福祉法人 秋桜福祉会	グループホーム	楠根の里
	堀溝	医療法人 河北会	介護療養型医療施設	河北病院
		社会福祉法人 香西会	特別養護老人ホーム	香西会テレサ
東北	国松緑丘	社会福祉法人 東和福祉会	特別養護老人ホーム	寝屋川苑
	第五			
	三井			
	宇谷			
西	池田	社会福祉法人 栄光会	特別養護老人ホーム	寝屋川十字の園
	桜			
	点野	医療法人 大雲会	介護老人保健施設	点野やすらぎの里
	西	株式会社 ユニマットそよ風	グループホーム	寝屋川ケアセンターそよ風
東	望が丘	社会福祉法人 東香会	特別養護老人ホーム	いちよう園
	中央	株式会社 エフエムシー介護サービス	グループホーム	FMC グループホーム
	東	社会福祉法人 淳風会	ケアハウス	グリーンヒル淳風
		社会福祉法人 香西会	特別養護老人ホーム	香西会スバル
西南	神田	社会福祉法人 いわき会	特別養護老人ホーム	神田の里
		社会福祉法人 真清福祉会	ケアハウス	ロイヤルライフ・カミダ
	啓明	株式会社 白寿会	要介護対応 高齢者マンション	グレイス寝屋川
	成美	社会福祉法人 いわき会	グループホーム	錦の里
	和光	医療法人 協仁会	グループホーム	第2なごやか
		社会福祉法人 真清福祉会	特別養護老人ホーム	ロイヤルライフ・天寿苑

4. 重層的支援体制整備事業＜市からの受託事業＞

（多機関協働事業・アウトリーチ等を通じた継続的支援事業・参加支援事業）

複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的支援体制を構築するとともに、多機関連携による重層的支援会議の開催や、訪問等による相談支援、個を支える地域づくりへの支援に取り組みました。

重点項目	評価(成果と効果)
1. 市関係機関との連携強化 2. まちかど福祉相談所事業等を活用した訪問型支援の強化 3. 居住支援・就労支援との連携促進	個別支援にあたる市の各課や民間支援事業所と重層的支援会議を行い、複雑化・複合化した相談の体制を構築し、共に支援ケースの対応にあたりました。 また、意思決定等に関して社会資源開発にかかるアンケートを実施し、地域包括支援センターや障害児者相談支援事業所から回答が寄せられ、様々な対応例や工夫が把握できました。

(1) 多機関協働事業対応件数

前年度末対応件数	2 件
新規対応件数	1 件
終結件数	1 件
年度末対応件数	2 件
重層的支援会議開催	12 件
重層的支援会議等にかかる調整対応(訪問含む)	98 件

(2) CSW による支援実績

個別支援	1.相談件数(方法)		1,881 件
	内訳	電話・メール	1,420 件
		アウトリーチ	335 件
		来所	126 件
	2.相談件数(分野)＊重複あり		1,938 件
	内訳	高齢分野	1,251 件
		障害分野	410 件
		65 歳未満で障害認定のない方	188 件
		その他	89 件
	3.支援件数(対応別)		455 件
	内訳	単一課題への対応	68 件
		複合多問題相談への対応	384 件
		重層的支援会議等での対応	3 件
	4.協議件数(関係機関と)		1,037 件
	5.地域支援件数(会議含む)		2,694 件

(3) 参加支援事業対応件数

前年度末対応件数	0 件
対応件数	2 件

(4) 重層的支援体制整備にかかる社会資源開発

市福祉部と協働し、地域包括支援センター及び障害児者相談支援事業所(計 14 事業所)を対象に「成年後見等や意思決定、身元保証や死後事務に関する支援の状況アンケート」を実施しました。

5. 地域支え合い推進事業(生活支援体制整備事業)<市からの受託事業>

高齢者の社会参加と介護予防推進のため、地域で支え合う活動づくりや高齢者が気軽に集える場所といった資源開発やネットワークづくり、ニーズと取り組みのマッチングなど、地域における支え合い体制づくりに取り組みました。

重点項目	評価(成果と効果)
1. 地域支え合い推進事業のパンフレットの作成等による関係機関及び住民への理解促進 2. 市域及び各日常生活圏域で、話し合いの場づくりを推進	機関紙『虹』で「65歳からの地域デビューのあゆみ」を連載し、事業紹介パンフレットを作成し、理解促進および啓発に取り組みました。 市域において「ふらっと Flat」を6回開催し、多職種との事例検討のもと地域生活課題解決に向けた取り組みを検討しました。

(1) 推進体制

第1層(市域)地域支え合い推進員1人・第2層(日常生活圏域)地域支え合い推進員3人で取り組みを推進しました。

(2) 地域支え合い推進に向けた方針づくり

高齢者が自立した生活を送ることができるよう、多様な主体によるさまざまな生活支援・介護予防サービスの充実、地域における支え合い体制づくりに向けて関係機関と話し合いを行いました。

① 地域支え合い推進員調整会議(開催回数:12回)

第1回 4月16日(水) 5人 第2回 5月20日(火) 6人 第3回 6月19日(木) 6人
第4回 7月17日(木) 6人 第5回 8月19日(火) 4人 第6回 9月24日(水) 4人
第7回 10月20日(月) 4人 第8回 11月18日(火) 4人 第9回 12月23日(火) 4人
第10回 1月21日(水) 5人 第11回 2月18日(水) 5人 第12回 3月10日(火) 5人

② 地域支え合い推進員・市高齢介護室合同会議(開催回数:4回)

第1回 4月21日(月) 8人

- 〔1〕各エリア報告
- 〔2〕視察について
- 〔3〕今年度、社協で取り組むこと
- 〔4〕カシオアヤム社会資源更新について

第2回 7月28日(月) 8人

- 〔1〕各エリア報告
- 〔2〕川西市買い物支援ネットワーク視察報告
- 〔3〕ネヤガワベンチプロジェクト(仮称)の立ち上げについて

第3回 10月27日(月) 8人

- 〔1〕各エリア報告

〔2〕 カシオアヤム更新状況の確認

第4回 1月26日(月) 8人

- 〔1〕 各エリア報告
- 〔2〕 カシオアヤム登録情報公開に向けた検討
- 〔3〕 次年度会議の開催頻度について確認

③ 新自立支援型地域ケア会議「ふらっと Flat」(開催回数:6回)

多様な関係機関と高齢者個々の事例を検証し、高齢者の暮らしにおける課題発見及び解決策について意見交換を行いました。

④ 地域診断会(開催回数:1回)

地域包括支援センター、社協(CSW、地域支え合い推進員)、高齢介護室、カシオ計算機株式会社、居宅介護支援事業所、地域住民で地域資源情報管理システム「アヤム」を活用し、コミュニティセンターエリアごとに地域の社会資源や地域特性の分析を行いました。 ※実施圏域:南

(3) 地域アセスメントと資源の把握

高齢者や地域のニーズを把握するとともに、社会参加(通いの場)や支え合い活動に役立つ場所やサービス、市内の取り組みについて関係機関とも連携し、情報収集を行いました。

① 関係機関との連携会議の参加

【西エリア】

- ・二中包括・八中包括・社協連携会議 8回
おとしより 110 番プロジェクトの検討、各エリアの情報共有
- ・おとしより 110 番プロジェクトワーキングチーム会議 8回
おとしより 110 番プロジェクト交流会/薬と健康展に向けた打ち合わせ

【西北エリア】

- ・ええやん三中圏域井戸端会議 4回

【南エリア】

- ・CSW・地域包括・地域支え合い連携会議 10回
参加機関からの情報共有、報告
- ・寝屋川市居宅介護支援事業所特定事業所研修会 1回
ケアマネジャーの事例検討会に参加

【西南エリア】

- ・地域アセスメント会議 12回
圏域地域資源マップ作成に向けた打ち合わせ
- ・西南圏域ケアマネジャー交流会への参加 1回

【東エリア】

- ・東圏域ケアマネジャーネットワーク型地域ケア会議 1回
ケアマネジャーの勉強会に参加

- ・望が丘ランチ全体会議 1回

望が丘ランチ健康教室参加の民間事業所と意見交換

【東北エリア】

- ・咲くら坂の会 1回

六中包括、十中包括、東北エリア介護保険事業所が参加。情報共有、事例検討会など

- ・東北圏域通いの場つながる・つくる会議 12回

十中包括、通所型サービス(短期集中)事業所ハーモニーなどと情報共有、意見交換

- ・三井校区、寝屋川団地まちづくりネットワーク型地域ケア会議 1回

十中包括、寝屋川団地 UR、三井校区民生委員と地域課題の共有、意見交換

② 市内で行われている社会参加(通いの場)や支え合い活動に役立つ場所の視察・見学

ニーズと取り組みのマッチング等に活用するため、社会資源の把握に努めました。

また、カシオアヤムの登録資源情報の更新、新規登録を行いました。

【西エリア】

- ・ゆりかご地域活動センター「ゆりかごサロン」「ゆりかごまつり」

- ・八中包括「手芸サロン」「お絵かき教室」「ラジオ体操」「介護予防教室」「八中包括通いの場展示会」

- ・仁和寺団地「せつにわサロン」

- ・葛原新町「食事会」

- ・寝屋川十字の園「十字でにっこり元気アップ体操」

- ・春日町公民館「春日町元気アップ教室」

- ・そんぼの家 東大阪日下「そんぼでフィーバー シニアディスコ」

【西北エリア】

- ・アル・プラザ香里園「アプコル健康塾」「認知症フェスタ」

- ・田井校区福祉委員会「いきいきウォーキング」

- ・友呂岐中学校区地域包括支援センター「ほっこりカフェ」

- ・第三中学校区地域包括支援センター「元気アップサポーター交流会」

- ・香里南之町西自治会集会所クリーク「香里南之町西自治会 元気アップ体操」

【南エリア】

- ・南水苑町サロン「いこいの場」

- ・河北西町老人会「銀杏クラブ」

- ・萱島南町老人会「熟年クラブ」

【西南エリア】

- ・錦町自治会サロン「錦町ほっこり食堂」

【東エリア】

- ・小規模多機能居宅介護パル寝屋川のサロン

- ・寝屋川公園でのラジオ体操

- ・申し出のあった市内工務店事務所の活用検討

- ・オレンジカフェ「じゅんぷう」

- ・東寝屋川ファミリータウンでの元気アップ体操

【東北エリア】

- ・寝屋川団地 UR 集会所での元気アップ体操
- ・国松会館での元気アップ体操
- ・就労継続支援 B 型事業所 YCC スタジオのこぐまやカフェの移動販売
- ・寝屋川団地 UR 集会所でのリハビリフィットネス Full Life による smile 体操
- ・オレンジカフェ「陽だまり」
- ・オレンジカフェ「和み」
- ・第五校区福祉委員会「健康体操」
- ・宇谷校区福祉委員会「演芸交流会」

(4) 資源開発

① 地域資源情報管理システム「カシオアヤム」の活用

市高齢介護室が運用する地域資源情報管理システム「カシオアヤム」の活用、運営を行い、登録している社会資源情報の精査を行うとともに、通所型サービス(短期集中)利用者に対して、通いの場等の情報を提供しました。(資源情報数 541 件)

居宅介護支援事業所のケアマネジャー向けの説明会を行い、ケアマネジャーへの公開を行いました。

② 通いの場づくり及び運営支援(支援回数:108 回)

関係機関と合同で高齢者の社会参加を目的とする通いの場づくりの企画検討を進めました。通所型サービス(短期集中)事業所と、利用後の新たな活躍の場としての社会資源構築に向けて検討を行いました。

項目	実施内容(会場)	実施エリア
運動	・ 体操教室 (府営仁和寺住宅集会所)	西
	・ 友呂岐緑地歩こう会 (友呂岐緑地公園・西南コミセン)	西南
	・ ブランチ昼下がり講座 (望が丘ランチ)	東
	・ みんなでいきいき介護予防教室 (UR 寝屋川団地集会所)	東北
	・ 一緒に歩こう会 (成田公園)	東北
	・ 体操教室 (成田高見台自治会館)	東北
交流	・ おしゃべりしようプロジェクト (西北コミセン等)	西北
	・ 河北 Farm (リハビリデイ河北)	南
脳トレ (芸術)	・ 映画観賞会 (社会福祉法人ねやのさと福祉会)	西
	・ 大人の塗り絵 (八中包括)	西
	・ 大人の塗り絵 (ウエルシア寝屋川池田東町店)	西

③ ボランティア活動の担い手育成

[1] 昔あそびボランティアグループ立ち上げ支援(支援回数:18 回)

昔あそびボランティアグループ「WAKUWAKU さん」を結成し、登録ボランティアグループへ登録を行い、福祉学習協力者としての活動開始を支援しました。令和 7 年度は 6 小学校で活動を行いました。

〔2〕寝屋川スカイハイツ内での買い物支援サービス企画(支援回数:4回)

昨年度より寝屋川スカイハイツ在住の高齢者の買い物支援を目的に、住民主体の送迎サービス立ち上げに向けて、地域住民、マンション管理人、運転ボランティア協力者と検討。今年度4月からは買い物支援の実施が始まり、現在は2か月に1度の運営会議に参加しています。

(5) ネットワーク構築

多様な関係主体が参画し情報共有や連携、協働による取り組みを推進する、市域全体の第1層協議体(市が設置運営)へ参加・協力しています。また、日常生活圏域(第2層)ごとに諸課題に応じて関係者との連携を行います。

- ① 河北病院、七中包括、中木田中包括との通いの場づくり会議 10回
- ② 八中包括通いの場リーダー会議 4回
- ③ そうしゃべ会(通所型サービス〔短期集中〕関係機関の意見交換会)6回
- ④ 寝屋川市地域ケア会議
 - 〔1〕1層:寝屋川市域地域ケア会議への参加(7月31日)
 - 〔2〕2層:南圏域地域ケア会議への参加(11月25日)
 - 〔3〕2層:西南圏域地域ケア会議への参加(11月19日)
 - 〔4〕2層:西圏域地域ケア会議への参加(2月17日)
 - 〔5〕2層:西北圏域地域ケア会議への参加(3月19日)
 - 〔6〕2層:東北圏域地域ケア会議への参加(3月24日)
 - 〔7〕2層:東圏域地域ケア会議への参加(3月27日)
- ⑤ 香里三井団地「ニコニコのデザイン」プロジェクト 1回

(6) ニーズと取り組みのマッチング

① 通所型サービス(短期集中)利用後の地域活動サポート

通所型サービス(短期集中)に取り組む事業所(8事業所)に通う利用者に対し支援しました。利用者全件を受け付けたうえで、必要に応じて支援を行いました。

支援者数	48人(継続者 7人 終結者 41人)
支援回数	107回
支援内容	社会参加に関する情報提供、就労情報提供など

② セルフマネジメントサポート(SMS)利用者の社会参加支援

セルフマネジメントサポート(SMS)に取り組む事業所(8事業所)に通う利用者全員に第2層地域支え合い推進員が関わり利用後の社会参加に向けての支援を行いました。

対応件数 4件

6. ボランティアセンター事業

市民のボランティア活動に対する理解と関心を高めるとともに、ボランティアの育成及び需給調整など活動の支援を行うことによってボランティア活動の効果的な推進を図りました。

重点項目	評価(成果と効果)
1. 世代別の担い手を育成する取り組みの実施 2. 小・中学生や保護者を対象にボランティア活動のきっかけを提供 3. 災害ボランティアセンターの設置運営訓練の実施	小学生から大学生の主体的な参画を得た「ぼらぽこどもまつり」の開催に加え、3つの校区福祉委員会でボランティアポイントモデル事業に取り組み、小・中学生と保護者が地域福祉活動に参加・参画する取り組みをすすめました。 勤労世代を主な対象に災害ボランティア養成講座を開催し、事前登録者が14名増加しました。 災害時に備えた地域丸ごと座談会を5年間で18校区、延べ21回実施し、災害時要配慮者を含む地域住民同士の関係性づくりに取り組みました。

(1) ボランティアセンター運営事業

① ボランティアセンター運営委員会の開催(開催回数:6回)

第1回 5月15日(木) 7人

- [1] 自己紹介
- [2] 令和7年度ボランティアセンター事業年間予定について(連絡)
- [3] 令和7年度ボランティア登録状況について(報告)
- [4] ボランティアセンター通信 150号発行(報告)
- [5] 令和7年度ボランティア講座及び各種会議について(報告)
 - ① 校区ボランティア部会長会(4月15日)
 - ② 登録ボランティアグループ連絡会(5月13日)
 - ③ ボランティア講座入門編の運用変更
- [6] 団体登録の新規申請について(検討)
- [7] 検討課題「ボランティアポイント事業」「第2回ぼらぽこどもまつり」

第2回 7月17日(木) 10人

- [1] 自己紹介
 - ① 名簿
 - ② ボランティアセンター並びに運営委員会の役割機能
 - ③ 正副委員長の選出について
- [2] ボランティアセンター通信 151号発行(報告)
- [3] 令和7年度ボランティア講座及び各種会議について(報告)
 - ① 校区ボランティア部会長会(6月24日)
 - ② 夏のボランティア体験プログラム(7月19日、8月2日、8月23日、9月6日、9月20日)

- ③災害ボランティア養成講座(8月29日)
- ④大阪・関西万博 共創チャレンジ(7月24日)
- [4]団体登録の新規申請について(検討)
- [5]意見交換「ボランティアポイント事業」「第2回ぼらぽこどもまつり」

第3回 9月17日(水) 10人

- [1]ボランティアセンター通信 152号発行(報告)
- [2]令和7年度ボランティア講座及び各種会議について(報告)
 - ①大阪・関西万博 共創チャレンジ(7月24日)
 - ②登録ボランティアグループ連絡会(8月5日)
 - ③校区ボランティア部会長会(8月26日)
 - ④災害ボランティア養成講座(8月29日)
 - ⑤夏のボランティア体験プログラム(7月19日、8月2日、8月23日、9月6日、9月20日)
- [3]団体登録の新規申請について(検討)
- [4]地域福祉活動計画について
- [5]意見交換「学生ボランティアについて」

第4回 11月19日(水) 8人

- [1]ボランティアセンター通信 153号発行(報告)
- [2]令和7年度ボランティア講座及び各種会議について(報告)
 - ①校区ボランティア部会長会(10月28日)
 - ②登録ボランティアグループ連絡会(11月11日)
 - ③ボランティア講座(1月24日)
- [3]第4次地域福祉活動計画(令和8年度～12年度)策定に向けたヒアリング
「ボランティア活動の今とこれからについて」

第5回 1月14日(水) 8人

- [1]ボランティアセンター通信 154号発行(報告)
- [2]令和7年度ボランティア講座及び各種会議について(報告)
 - ①校区ボランティア部会長会(12月16日)
 - ②ボランティア講座(1月24日)
 - ③「もっと広がれボランティア」(2月22日)
- [3]ぼらぽ隊実行委員会からの報告・意見交換
- [4]意見交換「学校や学生ボランティアとつながりを持つために」

第6回 3月18日(水) 9人

- [1]ボランティアセンター通信 155号発行(報告)
- [2]令和7年度ボランティア講座及び各種会議について(報告)
 - ① ボランティア講座「ユニバーサルスポーツ体験から学ぶ、多様性と可能性」(1月24日)

- ② 登録ボランティアグループ連絡会(2月3日)
- ③ 「もっと広がれボランティア」(2月22日)
- ④ 校区ボランティア部会長会(2月24日)
- ⑤ ボランティア講座シニア編「ボランティアデビューのすゝめ」(3月16日)
- ⑥ 災害時に備えた地域丸ごと座談会(池田、木田、木屋、田井、第五、中央、望が丘、堀溝、和光)

〔3〕意見交換「ボランティアポイント事業について」、「学校や学生ボランティアとつながりを持つために」

② ボランティア相談員連絡会の開催(開催回数:12回)

ボランティア活動希望者の相談や個人、施設等からのボランティア依頼、需給調整を行っています。週3回、総勢9人のボランティア相談員で対応しています。

開催日(出席者)

4月7日(5人)、5月12日(8人)、6月9日(5人)、7月14日(7人)、8月18日(6人)、
9月8日(7人)、10月6日(7人)、11月10日(7人)、12月8日(4人)、1月19日(7人)、
2月9日(5人)、3月9日(7人)

(2) ボランティア研修事業

①ボランティア講座の開催(開催回数:1回)

講座名 ユニバーサルスポーツ体験から学ぶ、多様性と可能性

開催日 1月24日(土)

会場 保健福祉センター多目的室・研修室5・会議室1.2

参加数 37人

内容 児童・生徒及びその保護者には多世代との交流を通して多様性理解を促し、校区福祉委員等には地域福祉活動における選択肢を提案することで、各地域において誰もが参加・参加できる地域福祉活動づくりを目指す。

協力 寝屋川市障害者団体協議会

②ボランティア講座(シニア編)の開催(開催回数:1回)〈市からの委託事業〉

講座名 ボランティアデビューのすゝめ ～ボランティアデビューしませんか～

開催日 3月16日(月)

会場 保健福祉センター 多目的室

参加数 36人

内容 ①事務局よりボランティア活動に参加する意義、魅力を伝える
②ボランティアグループ(7団体)より活動内容紹介
③ボランティア活動(7団体)の実演及び体験

協力 登録ボランティアグループ連絡会

③ ボランティア体験プログラムの実施(大阪府社協との共催事業)

夏のボランティア体験プログラム	
プログラム名	第2回ぼらぽこどもまつり
開催日	7月19日(土)、8月2日(土)、8月23日(土)、9月6日(土)、9月20日(土)
会場	中央図書館マルチルーム、摂南大学、保健福祉センター多目的室
参加数	66人
内容	こどもたちが、こどもまつりの企画会議から当日の運営に関わるボランティア体験を通じて、地域の人や友だちと力をあわせて取り組むことの大切さを感じてもらい、未来のボランティア活動者の育成につなげる。(まつり来場者:約1,200人)
協力	ボランティアセンター運営委員会・ボランティアポイント実行委員会、校区福祉委員会、摂南大学 他
後援	寝屋川市教育委員会

(3) ボランティアセンター通信の発行(発行:6回/各2,000部発行)

発行日	号	主 な 内 容
5月1日	150	子供・大人ともに学びのひととき ボランティア体験にわくわく
7月1日	151	ボランティア「感動」への道しるべ ボランティア体験の夏
9月1日	152	熱いおもい 結実のとき ボランティア体験の夏 第2弾『ぼらぽこどもまつり』
11月1日	153	大成功!! 子供が主役「ぼらぽこどもまつり」
12月20日	154	登録Vグループの全てを大公開 再び!!
3月1日	155	「ボッチャ・モルック」やってみよう 年齢・体力関係なし! みんな一緒に

(4) ボランティア活動支援事業

① 活動に関する相談・援助・需給調整の実施

調 整		相 談	
活動実施件数	139(25)	活動参加相談	11(△9)
参加V数	790(182)	活動希望相談	138(-)
情報提供件数	16(4)	計	149(△9)

② ボランティアの育成・組織化の実施

ボランティアセンターへの相談者に地域や施設などでボランティア活動が始められるよう、また、継続して活動が続けられるよう個別相談に応じ個人ボランティアや組織の育成に努めました。

③ 若年層へのボランティア活動推進

子育て世代が地域福祉活動(ボランティア活動)に参加するきっかけをつくるため、小・中学生を対象に「ボランティアポイントモデル事業」に取り組みました。

(モデル校区福祉委員会:楠根校区、啓明校区、堀溝校区)

	楠根校区	啓明校区	堀溝校区
活動者数(実数:小学生)	26人(希望者数)	79人(希望者数)	379人(全校児童数)
活動者数(実数:中学生)	1人	4人	—
活動者数(延べ数)	113人	107人	30人
ポイント(P)付与状況	5P未満:21人 6~10P:4人 11~15P:2人	5P未満:78人 6~10P:5人	5P未満:多数 6~10P:12人 11~15P:5人
ポイント対象活動	福祉委員会が認める活動	福祉委員会が認める活動	福祉委員会が認める活動 自発的なボランティア活動
ポイント付与者数	7人	11人	16人
ポイント付与方法	活動当日	活動当日	活動同日 下校時(毎週火曜)

■主な子どもの声、保護者の声、地域の声

- ・「しんどかったけど頑張った」「またやりたい」「45分ではなくもっと長い時間で活動したい」
- ・「ボランティアをしたがっています」「ボランティアや人との関わりについて家族で話し合いができた」
- ・「朝の挨拶をする子が増えた」「子どもたちが活動しているのを見ると元気が出る」

■主な評価、効果、今後に向けて

- ・楠根校区:地域交流につながっている。曜日や時間の工夫など、保護者との連携も必要。
- ・啓明校区:子どもが参加することで保護者の参加も増え、地域に興味を持ってくれた。子どもの配置や役割等の準備をしっかり計画し、戸惑い少なく充実感を持ち帰ってもらうことが必要。
- ・堀溝校区:全児童に週1回ボランティアを説明することで、ボランティアに関心を示す児童が増えた。週1回のポイント付与活動日数の検討が必要。

④ 活動に必要な場所の提供(ボランティアセンター室)

時間帯	計
午前	127(△39)
午後	235(12)
夜間	12(△1)
計	374(△28)

(5) 登録ボランティアグループ連絡会の開催

①登録ボランティアグループ連絡会役員会の開催(開催回数:4回)

第1回 役員会 4月21日(月)3人 第2回 役員会 7月17日(木)3人
第3回 役員会 10月14日(火)3人 第4回 役員会 1月13日(火)2人

②登録ボランティアグループ連絡会の開催(開催回数:4回)

第1回 連絡会 5月13日(火) 30団体

- [1]フェスタ「もっと広がれボランティア」(以下、フェスタ)のふりかえり
- [2]意見交換「ボランティアをはじめたきっかけ」
- [3]事務局からの連絡

第2回 連絡会 8月5日(火) 29団体

- [1]新規登録団体について
- [2]フェスタの詳細検討
- [3]意見交換「どんなフェスタにしたいか」
- [4]事務局からの連絡

第3回 連絡会 11月11日(火) 28団体

- [1]新規登録団体について
- [2]フェスタ実行委員会の報告と検討
- [3]事務局からの連絡

第4回 連絡会 2月3日(火) 34団体

- [1]副会長の後任について
- [2]2/22 フェスタについて
- [3]事務局からの連絡

③フェスタ「もっと広がれボランティア」実行委員会の開催(開催回数:7回)

市民に登録ボランティアグループ連絡会や登録団体の活動を知ってもらい、また登録団体相互の交流を通して、ボランティア活動の魅力を伝えるイベント開催に向け、実行委員会を開催しました。

開催日 9月12日、10月14日、10月23日、11月25日、1月13日、2月13日、3月23日

④フェスタ「もっと広がれボランティア」の開催(開催回数:1回)

登録ボランティアグループ連絡会主催で、市民に登録ボランティアグループ連絡会や登録団体の活動を知ってもらい、また登録団体相互の交流を通して、ボランティア活動の魅力を伝えるイベントを開催しました。

開催日 2月22日(日)

会場 エスポアール

参 加 数 250 人

内 容 舞台発表、ワークショップ、展示、懇親会

(6) 資材教材の貸出し

学校やボランティアグループ、市民活動団体に貸出しを行いました。

①教材用車イス貸出状況

件数	79(52)
貸出台数	985(237)

②教材用アイマスク貸出状況

件数	6(△2)
貸出枚数	250(△550)

③教材用擬似体験装具貸出状況

件 数	41(15)
貸出台数	349(△192)

④教材用点字板貸出状況

件数	39(24)
貸出枚数	1,445(97)

⑤プロジェクター貸出状況

件数	8(△3)
貸出台数	8(△3)

⑥教材用DVD貸出状況

件数	1(△1)
貸出台数	1(△12)

* 上記①～⑥貸出数は延べ数で記載

(7) ボランティアセンターに登録している団体・個人

団 体	52(2)
団体(人数)	817(△36)
個 人	38(△4)

(8) 災害ボランティアセンター事前登録者・団体

個人:37 人(14) 団体:3 団体(1)

(9) 災害ボランティア入門講座の開催(開催回数:1 回)

地域の防災力を高めるため、災害時に迅速かつ的確に支援活動が行える人材を育成することを目的とし、災害ボランティアに必要な知識と技能を習得する機会を提供しました。本講座で災害ボランティア事前登録制度の案内を行い、14 人が新規登録をされました。

開 催 日 8 月 29 日(金)

会 場 産業振興センター 第一セミナー室

参 加 数 33 人

内 容 「市内の被害想定や備えについて」

講師:寝屋川市危機管理部防災課

「災害ボランティアセンターの役割や活動」

講師:事務局職員

(10) 災害時に備えた地域丸ごと座談会の開催(校区:6 校区)

校区	内容
第五	開催日:8 月 28 日(木) 会 場:中央高齢者福祉センター 講 師:岩木 啓子 氏(ライフデザイン研究所 FLAP) 参加数:29 人 内 容:「災害時、要配慮者等(障害児・者、保護者)の声を聞き、地域で何ができるかを考える」をテーマに、要配慮者等との話し合いを通して、参加者同士のつながりをつくりつつ、参加者の置かれている状況の共有や発災時に向けて何ができるかのヒントを検討する。
田井	開催日:11 月 3 日(月) 会 場:田井小学校内 PTA 会議室 講 師:岩木 啓子 氏(ライフデザイン研究所 FLAP) 参加数:29 人 内 容:「地域に住む生活のしづらさを抱えた方々の声を聞き、つながる」をテーマに、参加者同士の置かれている状況や災害時にどういった困りごとがあるのかについて語り合うとともに、参加者同士のつながりをつくる。

校区	内容
中央	開催日:11月16日(日) 会 場:八坂公民館 講 師:事務局職員 参加数:38人 内 容:「災害時に配慮が必要な方の声を聴く」をテーマに、校区内に実際に住む障害を抱えている方や要介護状態の方、ご家族と意見交換を行うとともに顔見知りになる。
和光	開催日:11月23日(日) 会 場:和光小学校ランチルーム 講 師:寝屋川市防災課 参加数:44人 内 容:災害時に配慮が必要な方やその家族の立場に立って防災(減災)について考える。また、避難時におけるトイレなどの衛生環境の整備についても考える。
木屋	開催日:12月2日(火) 会 場:木屋小学校 PTA 会議室 講 師:岩木 啓子 氏(ライフデザイン研究所 FLAP) 参加数:21人 内 容:「地域に住む生活のしづらさを抱えた方々の声を聞き、つながる」をテーマに、参加者同士の置かれている状況や災害時にどういった困りごとがあるのかについて語り合うとともに、参加者同士のつながりをつくる。
池田	開催日:2月22日(日) 会 場:保健福祉センター 講 師:事務局職員 参加数:21人 内 容:「地域に住む生活のしづらさを抱えた方々の声を聞き、つながる」をテーマに、参加者同士の生活状況や災害時にどういった困りごとがあるのかについて語り合うとともに、参加者同士のつながりをつくる。

(11) 主な災害用備品状況 *市の協力を得て、市防災備蓄センターで災害用備品を保管しています。

備品	計	備品	計
エアーテント	3	簡易トイレ	6
パイプテント	2	簡易トイレ用テント	7
簡易テント	3	ガソリン式発電機	2
投光器	7	ガスボンベ式発電機	3
蛍光灯	8	ポータブル蓄電池	3
高圧洗浄機	2	トランシーバー	10

(12)災害用備品点検の実施(実施回数:3回)

保管中の災害用備品の点検を行いました。

点検日	点検内容
5月19日	防災備蓄センター内保管備品点検
5月23日	第二中学校内保管備品点検
5月26日	池の里市民交流センター内保管備品点検

(13)災害に関する協定締結状況

①「災害時におけるボランティアセンターの設置・運営に関する協定」

締結先 寝屋川市

締結日 平成28年10月4日

②「災害時における相互協力に関する協定」

締結先 一般社団法人寝屋川青年会議所

締結日 令和3年12月3日

③「災害時におけるボランティア支援に関する協定」

締結先 寝屋川中央ライオンズクラブ

締結日 令和5年10月25日

(14)災害ボランティアセンター設置運営訓練

大規模災害発生時に設置される災害ボランティアセンターについて、全職員がその意義・機能・運営手順を体験し、役割分担や連携体制の重要性を理解できるよう訓練を実施しました。

開催日 1月17日(土)

会場 池の里市民交流センター

参加数 40人

内容 [1]全体訓練(災害時における基本方針および初動対応体制の確認)
[2]各班に分かれて災害ボランティアセンターのシミュレーション訓練
[3]ふりかえり、まとめ

7. 福祉教育推進事業

子どもから高齢者、障害者など社会福祉への関心や気づきを深め、ひとり一人が自分に出来ることを考え行動する力を育む活動を行いました。

重点項目	評価(成果と効果)
1. 福祉学習プログラムの充実 2. 関係者と今後の福祉学習についての方針づくり	地域貢献委員会の協力を得て、専門職の知見や経験をもとにしたプログラムを実施し、人権教育をテーマとした授業にも対応しました。また、関係者と学習の進め方の検討やふりかえりを行い、内容がより充実するよう話し合いました。

(1)福祉学習説明会の開催

学校関係者、校区福祉委員会を対象に、本会が取り組んできた福祉学習の実践内容説明や、講師による福祉学習の在り方や福祉教育がもつ機能に関する講義、ボランティアと学校との交流、個別相談の場を設けました。

開催日 5月9日(金)

会場 保健福祉センター 多目的ホール

参加数 65人

講師 ふくしと教育の実践研究所 SOLA(Social-Labo)主宰 新崎 国広 氏

(2)小学校・中学校・高等学校などが行う福祉学習への支援・協力

福祉学習の手引きを作成し、市内小・中・高等学校へ配付しました。学校からの依頼に対して調整を行いました。

(3)新たな福祉学習協力者と連携したプログラムづくり

今年度より地域貢献委員会とWAKUWAKUさんが参画し、多様な福祉教育を提供しています。

(4)ボランティアグループ等で対応した福祉体験学習(実施回数:53回)

①擬似体験学習(対応団体:うらしまさん)

No.	実施日	実施先		人数	校区福祉委員会	内 容		
						車いす体験	視覚障害体験	高齢者等擬似体験
1	6月10日	宇谷小	6年	60	宇谷			○
2	6月17日	点野小	4年	78	点野		○	
3	7月15日	啓明小	4年	48	啓明		○	
4	9月2日	国松緑丘小	5年	58	国松緑丘	○		
5	9月9日	成美小	5年	62	成美	○		
6	9月11日	宇谷小	5年	43	宇谷	○		
7	9月12日	国松緑丘小	6年	62	国松緑丘			○

No.	実施日	実施先		人数	校区福祉 委員会	内 容		
						車いす 体験	視覚障害 体験	高齢者等 擬似体験
8	9月17日	神田小	5年	55	神田			○
9	10月10日	木田小	6年	53	木田			○
10	10月21日	同志社香里中	1年	249	-	○		
11	10月22日					○		
12	10月23日	木田小	3年	68	木田		○	
13	10月27日	成美小	4年	59	成美		○	
14	10月31日	国松緑丘小	4年	59	国松緑丘		○	
15	11月13日	石津小	6年	42	石津	○		
16	11月21日	楠根小	5年	23	楠根	○		
17	12月2日	池田小	5年	84	池田			○
18	12月16日	楠根小	6年	34	楠根			○
19	2月10日	楠根小	3年	22	楠根		○	
20	2月16日	桜小	5年	54	桜			○
21	2月17日	桜小	4年	52	桜		○	
22	2月20日	池田	3年	77	池田		○	
23	3月2日	神田	4年	68	神田		○	
計				1,410		7	9	7

②点字学習(対応団体:つくしの会)

No.	実施日	実施先		人数
1	10月31日	三井小	3年	39
2	11月4日	木田小	4年	67
3	11月11日	石津小	4年	44
4	11月27日	香里ヌヴェール学院小	3年	52
5	12月2日	田井小	3年	57
6	12月17日	東小	3年	119
7	1月21日	堀溝小	3年	60
8	1月26日	宇谷小	3年	42
9	2月4日	楠根小	4年	16
10	2月10日	点野小	3年	68
11	2月19日	望が丘小	3年	97
計				661

③障害のある当事者の話(対応団体:下記参照)

No.	実施日	実施先		人数	対応団体 及び対応者	内 容	
						視覚障害に ついて	こころの病に ついて
1	7月16日	池田小	4年	84	視覚部	○	
2	10月15日	香里ヌヴェール学院小	4年	53	視覚部	○	
3	11月10日	石津小	4年	34	視覚部	○	
4	11月27日	第五小	4年	137	視覚部	○	
5	12月1日					○	
6	12月5日	香里ヌヴェール学院小	6年	81	WB		○
7	12月17日	堀溝小	4年	60	視覚部	○	
8	2月6日	中央小	4年	88	視覚部	○	
9	2月26日	望が丘小	6年	105	視覚部	○	
計				642		8	1

※身体障害者福祉会 視覚部(視覚部)、チーム・ウェルビーイング(WB)

④認知症学習(対応団体:キャラバン・メイト連絡会)

No.	実施日	実施先		人数
1	11月27日	堀溝小	6年	65
2	12月22日	東小	6年	65
計				130

⑤昔あそび学習(対応団体:WAKUWAKUさん)

No.	実施日	実施先		人数
1	7月16日	点野小	2年	58
2	11月7日	木田小	2年	64
3	1月20日	香里ヌヴェール学院小	2年	42
4	1月23日	第五小	1年	170
5	1月26日	点野小	1年	57
6	2月26日	南小	1年	57
計				448

⑥その他(対応団体:ひびき、てとてとと)

No.	実施日	実施先		人数	対応団体	内容
						手話
1	10月31日	田井小	4年	52	ひびき	○
2	11月20日	国松緑丘小	3年	53	てとてとと	○
計				105		2

(5) 地域貢献委員会で対応した福祉体験学習(実施回数:4回)

No.	実施日	実施先		人数	事業所	内 容		
						車イス 体験	高齢者等 擬似体験	人権 教育
1	10月3日	木田小	5年	70	(福)真清福祉会	○		
2	10月23日	桜小	6年	51	(福)栄光会	○		
3	12月2日	友呂岐中	全学年	390	(福)光輝会 (福)みつわ会			○
4	12月8日	香里ヌヴェール 学院小	5年	73	(福)百丈山合掌会		○	
計				584		2	1	1

(6) 校区福祉委員会単独で対応した福祉体験学習(実施回数:27回)

No.	実施日	実施先		人数	校区福祉 委員会	内 容				
						車イス 体験	視覚 障害 体験	高齢者等 擬似体験	伝承 あそび	手話
1	6月12日	南小	6年	86	南			○		
2	6月23日	西小	6年	34	西			○		
3	6月24日	北小	4年	101	北		○			
4	6月27日	田井小	5年	65	田井		○			
5	9月1日	望が丘小	5年	123	望が丘	○				
6	9月19日	田井小	6年	57	田井			○		
7	9月22日	西小	4年	46	西		○			
8	9月22日	三井小	6年	48	三井			○		
9	10月28日	三井小	5年	28	三井	○				
10	10月29日	木屋小	5年	87	木屋			○		
11	11月6日	西小	5年	44	西	○				
12	11月14日	三井小	4年	41	三井		○			
13	11月26日	木屋小	4年	72	木屋		○			
14	11月26日	第五小	3年	152	第五					○

No.	実施日	実施先		人数	校区福祉 委員会	内 容				
						車イス 体験	視覚 障害 体験	高齢者等 疑似体験	伝承 あそび	手話
15	12月4日	宇谷小	4年	56	宇谷		○			
16	12月18日	望が丘小	4年	130	望が丘		○			
17	1月13日	田井小	1年	56	田井				○	
18	1月14日	北小	1年	82	北				○	
19	1月22日	望が丘中	1年	119	望が丘	○				
20	1月28日	堀溝小	5年	63	堀溝	○				
21	1月30日	楠根小	1年	19	楠根				○	
22	1月30日	点野小	6年	70	点野			○		
23	2月6日	西小	1年	37	西				○	
24	2月9日	点野小	5年	66	点野	○				
25	2月13日	第十中	1年	106	宇谷、三井	○				
26	2月19日	和光小	6年	92	和光		○			
27				92		○				
計				1,972		8	8	6	4	1

8. 当事者組織支援事業

同じ福祉問題を持つ人たちを組織化し、問題の当事者という立場で悩みや問題の共有や問題解決を図るための活動、関係機関とのネットワークづくり等に取り組む当事者（ひとり暮らし高齢者の会・介護者の会）の支援を行いました。

重点項目	評価(成果と効果)
当事者組織の運営における課題解決への支援	介護者の会の解散に向けての行程を理事と協議をすすめ、各行事の開催を円滑に行えるように支援しました。 ひとり暮らし高齢者の会は各会の会員とコミュニケーションを図りながら年間行事の継続について支援しました。

(1)組織運営の支援

① ひとり暮らし高齢者の会連絡会

〔1〕 ひとり暮らし高齢者の会連絡会の開催(開催回数:6回)

開催日	人数	内 容
5月20日(火)	3	令和7年度予算書・事業計画について 令和6年度決算書・事業報告について 令和6年度交通費の取り扱いについて 会長交流会の日程について/連絡会ニュースについて/各会の動き
7月15日(火)	3	全体交流会について 各会の行事について(提案)/各会の動き/会長交流会(食事会)
9月16日(火)	3	会長交流会のふりかえり 全体交流会の開催について/連絡会ニュースの配布
10月21日(火)	3	全体交流会の開催について 詐欺防止のための注意喚起と情報交換
1月20日(火)	3	令和8年度事業計画(案) 令和7年度連絡会交通費について/全体交流会のふりかえり
3月17日(火)	3	令和7年度決算・令和8年度予算(案)について 令和8年度ひとり暮らし高齢者の会連絡会事業計画について 令和8年度会員数報告書・予算書・決算書の資料配布(各会) 令和7年度交通費の取り扱いについて

〔2〕 連絡会ニュースの発行(発行:1回)

発行月 9月 発行部数 105部

〔3〕 会長交流会(兼連絡会)

7月15日(火) 3人 がんこ寝屋川店 寝屋川本店

〔4〕 全体交流会

11月12日(水) 国松会館

〔5〕 会員数

会員数:82人(7)

連絡会加入会数:3会 ※みどり会(国松緑丘)・楽寿会(第五)・三友会(三井)

② 介護者の会

〔1〕介護者の会理事会の開催(開催回数:12回)

開催日	人数	内 容
4月1日(火)	6	令和7年度総会について 会則要項改正案について 令和7年度事業計画・予算について
4月23日(水)	5	令和7年度総会について 令和7年度総会資料の読み合わせ 会則要項改正案について/人間ドックについて
5月13日(火)	5	令和7年度総会について 総会資料製本作業と委任状の配布
6月3日(火)	5	令和7年度総会のふりかえり 介護者の会の今後について
7月1日(火)	6	会員名簿作成に向けて会員動静の確認 介護者の会の今後について
9月2日(火)	6	会員名簿の配布 介護者の会の今後について
10月7日(火)	6	新年交流会について/リフレッシュ事業について 介護者の会の今後について
11月4日(火)	5	新年交流会について/リフレッシュ事業について 介護者の会解散について
12月2日(火)	6	新年交流会について/リフレッシュ事業について 介護者の会の今後について
1月6日(火)	5	新年交流会について/リフレッシュ事業について 今後の認知症介護家族交流会について
2月3日(火)	6	リフレッシュ事業について/総会の日程について
3月3日(火)	5	リフレッシュ事業について/総会の日程について 解散に向けての確認事項

〔2〕総会

5月29日(木) 13人 保健福祉センター 研修室5

〔3〕認知症介護家族交流会の実施（開催回数：6回）

4月18日（金）	9人
6月20日（金）	11人
8月15日（金）	11人
10月17日（金）	9人
12月19日（金）	6人
2月20日（金）	11人

〔4〕リフレッシュ事業の実施

3月26日（月） 18人 湯の花温泉烟河（けぶりかわ）

〔5〕会員数

会員数 33人（△13）

内 訳 正会員 7人（△2） 準会員 26人（△11）

（2）コミュニティワークとしての支援

① ひとり暮らし高齢者の会連絡会への支援

ひとり暮らし高齢者の会活動が縮小傾向にある中、連絡会を通じて各会会長との協議を行い、会活動の支援を行っています。

② 介護者の会への支援

介護者の会解散に向けて、理事会を通じて役員との意見交換や情報交換を行い、会活動の支援を行っています。

9. 献血推進事業

各コミセンエリアの校区福祉委員会及び各種団体等の協力のもと、地域・団体献血を実施しました。また、赤十字血液センターが主体となり、寝屋川市内の事業所、学校、街頭にて献血を実施しました。

重点項目	評価(成果と効果)
地域献血の実施時期及び場所についての見直し	採血数の多い会場への会場変更を行うことにより、採血実績の増加へ結びつけることができました。

(1) 地域・団体献血の実施（実施回数：16回）

月 日		時間	会 場	主 催	受付数	採血数
5	15	1 日	京阪寝屋川市駅東口前	中央ライオンズクラブ	31	23
	30	1 日	イオンモール四條畷	南エリア 4 校区福祉委員会	38	33
6	2	午前	コーナン東寝屋川店	東エリア 4 校区福祉委員会	6	6
	19	午前	ダイエー寝屋川中神田店	西南エリア 4 校区福祉委員会	10	9
8	21	1 日	寝屋川市役所	北大阪赤十字血液センター	36	35
9	9	1 日	アル・プラザ香里園	西北エリア 4 校区福祉委員会	44	39
	20	1 日	ビバモール寝屋川	東北エリア 4 校区福祉委員会	60	43
10	9	1 日	京阪寝屋川市駅東口前	東北エリア 4 校区福祉委員会	42	37
	17	午前	コーナン寝屋川昭栄店	南エリア 4 校区福祉委員会	5	4
11	7	1 日	京阪寝屋川市駅東口前	西エリア 4 校区福祉委員会	45	35
12	12	1 日	京阪寝屋川市駅東口前	西南エリア 4 校区福祉委員会	22	19
1	8	1 日	寝屋川市役所	北大阪赤十字血液センター	24	21
	15	1 日	京阪寝屋川市駅東口前	中央ライオンズクラブ	30	27
2	14	1 日	ビバモール寝屋川	東北エリア 4 校区福祉委員会	57	47
	18	1 日	アル・プラザ香里園	西北エリア 4 校区福祉委員会	38	34
	20	1 日	京阪寝屋川市駅東口前	西エリア 4 校区福祉委員会	28	22
計					516(10)	434(22)

(2) 事業所、学校、街頭献血の実績（実施回数：48回）

区分	実施回数	受付数	採血数
事業所	33(△2)	586(88)	534(13)
学校	7(△1)	231(△8)	176(△16)
街頭	8(△6)	279(△378)	227(△243)
計	48(△9)	1,096(△298)	937(△246)

10. 福祉有償運送事業

移動が困難な高齢者や障害者等を対象に、リフト付き車両による移送サービスおよび外出援助サービスを実施しました。

重点項目	評価(成果と効果)
1. ボランティア(運転・介助・事務)の増員に向けた取り組みの実施 2. 今後の運営体制についての見直しなど、充実に向けた取り組みの推進	商業施設などボランティア募集・講習会開催ポスターの配布先の拡充に取り組み、認定講習会修了者数は12人で前年より増加しましたが、ボランティアが不足する現状は変わらず実施件数等が減少しています。今後の運営体制の見直しに向けて、現状分析に取り組みました。

(1) 移送サービス事業<市からの一部受託事業>

公共交通機関を使用して外出することが困難な方を対象に、ボランティアグループ「レインボー」協力のもと、リフト式車両による移送サービスを行いました。

① 移送サービス実施件数

予約件数	1,654 (△65)
実施件数	1,415 (△27)
V 参加数(人)	1,046 (29)
稼働日数(日)	340 (5)
走行距離(km)	26,724 (△650)

対象者区分	1,415 (△27)
(内訳)	
高齢者	804 (△52)
高齢+障害者	298 (△5)
障害者	221 (22)
その他	92 (8)

利用目的	1,415 (△27)
(内訳)	
通院など	1,022 (△42)
施設送迎	134 (6)
行事参加	- (△1)
行楽	- (-)
その他	259 (10)

② 移送ボランティアグループの育成・支援

[1] 移送ボランティア連絡会…1回

[2] 登録ボランティア数 26 人(1)〈運転 11 人(-)、介助 14 人(1)、事務 1 人(-)〉

③ 利用登録者数 *令和7年度11月登録更新実施

区分	高齢者	高齢+障害者	障害者	その他	計
登録者数	561 (△179)	202 (△61)	49 (△24)	32 (△13)	844 (△277)

④ 移送ボランティアグループ研修交流会

内 容 危険予測力と休息・睡眠の大切さについて
開 催 日 3 月 16 日(月)
参 加 数 14 人

(2) 高齢者外出援助サービス<市からの受託事業>

公共交通機関を使用して外出することが困難な高齢者を対象に、市内 6 地区の運営委員会によるボランティアが、スロープ式軽車両による外出援助サービスを行いました。

①外出援助サービス実施件数

予約件数	3,919(△82)
実施件数	3,519(△21)
V 参加数(人)	4,660(△189)
稼働日数(日)	1,429(△35)
走行距離(km)	50,987 (△936)

対象者区分	3,519(△21)
(内訳)	
高齢者	3,519(△7)
その他	-(△14)

利用目的	3,519(△21)
(内訳)	
通院など	2,740(△80)
施設送迎	56(△16)
行事参加	1(1)
行楽	1(1)
その他	721(73)

②各種会議の開催

[1]6 地区運営委員長会議の開催(開催回数:2 回)

7 月 24 日(木) 11 人

1. 運転協力者認定講習会の報告及び次回以降の開催
2. 実務に関する確認
 - ・実施状況報告書の様式変更について
 - ・夏季の調整、運行について
 - ・自家用有償旅客運送の更新登録の申請時に必要な書類について
 - ・令和 6 年度実績報告、収支報告、利用料の使途について
3. 各地区の活動状況報告

10 月 30 日(木) 8 人

1. 運転協力者認定講習会の報告及び次回以降の開催
2. 実務に関する確認
 - ・上半期の活動実績表について
 - ・交通費相当の実費弁償費のお渡しについて

・車両搭載車イスの入替について

3. 各地区の活動状況報告

〔2〕各地区運営委員会の開催(開催回数:14回)

西北	南	東北	西	東	西南
1回	なし	2回	-回	1回	10回

③外出援助サービス利用登録者数

	西北	南	東北	西	東	西南	計(人)
利用登録者数	173 (29)	267 (53)	317 (72)	254 (57)	176 (31)	236 (39)	1,423 (281)

④外出援助サービスボランティア数

	西北	南	東北	西	東	西南	計(人)
運 転	5(-)	9(-)	13(△3)	7(2)	5(△1)	8(-)	47(△2)
介 助	-(-)	7(3)	10(2)	10(1)	-(-)	6(1)	33(7)
事 務	5(△2)	4(△2)	10(△9)	11(2)	15(2)	10(△1)	55(△10)

(3) 国土交通大臣認定運転協力者講習会の開催(開催回数:2回)

運転ボランティアの安定的な確保を図ることを目的に、国土交通省が定める認定講習会を開催しました。

開催日	有料 受講者	西北	南	東北	西	東	西南	移送	その他	計(人)
第1回 6月5日・12日	-	3	1	2	2	-	1	1	-	10(3)
第2回 9月18日・25日	-	-	-	-	1	-	-	-	1	2(1)
第3回 1月15日・22日	申込者なく中止									

(4) 運転者協力者現任研修会の開催(開催回数:1回)

実施日 3月12日(木)

会 場 エスポアール 第2講義室

参加数 40人(外出援助・移送)

内 容 安全運転講習

講 師 一般社団法人日本自動車連盟(JAF)

11. 車イス貸出し事業

在宅で車イスが一時的に必要な人を対象に車イスの貸出しを行いました。

保有台数 55 台(自走式 37 台、介助式 18 台)

(1)貸出し状況(年間)

367(77) 件

(2)年齢別利用状況

年 齢	49 歳以下	50～64 歳	65～74 歳	75 歳以上	計
件 数	66(25)	48(10)	46(16)	207(26)	367(77)

(3)貸出し期間別利用状況

貸出期間	1 週間未満	1 か月未満	1～2 か月	3～4 か月	5～6 か月	計
件 数	74(7)	130(51)	53(2)	79(18)	31(△1)	367(77)

(4)利用目的別利用状況

利用目的	通院	散歩	日常	行事	その他	計
件 数	88(△24)	6(1)	115(7)	141(83)	17(10)	367(77)

12. 元気アップ介護予防ポイント事業 <市からの受託事業>

介護予防サポーターの養成のための登録研修を開催するとともに、サポーター・受入施設の双方から相談を受け、サポート活動の需給調整を行いました。

重点項目	評価(成果と効果)
1. サポーター登録研修の地域開催	西北コミュニティセンターでの地域開催に取り組みました。 ステップアップ教室として「ぬり絵活動」の展開を目指した研修会を開催しました。
2. 活動の幅と質の向上、サポーター同士の交流会の開催	
3. サポーター受入施設の拡充【新規】	

(1) サポーター登録者数等

① 登録者数 (累計)325 人(14) *うち令和 7 年度新規登録者数 27 人

② 実活動者数 143 人(18)

③ 活動内容別参加者数(重複有り)

[1]縫製、洗濯物の整理など日常生活を補助する活動……………	360 人
[2]囲碁、将棋、書道など趣味を活かした交流活動……………	100 人
[3]傾聴、話し相手などの活動……………	319 人
[4]紙芝居、朗読などの活動……………	56 人
[5]ゲーム、歌、歌体操などのレクリエーション活動……………	203 人
[6]お茶出し、食堂での配膳などの補助活動……………	243 人
[7]園芸、草刈りなどの補助活動……………	180 人
[8]施設行事の手伝いなどの活動……………	8 人
[9]その他施設における軽微かつ補助的な活動……………	65 人
計	1,534 人

(2) サポーター受入登録施設数

① 高齢者福祉施設 115 施設 (2) <新規登録数: 2>

② 障害者福祉施設 12 施設 (-) <新規登録数: ->

③ 児童福祉施設 21 施設 (-) <新規登録数: ->

④ その他の施設 1 施設 (-) <新規登録数: ->

計 149 施設 (2) <新規登録数: 2>

(3) サポーター登録研修の開催(開催回数:5回)

開催日 5月12日(月) 7人 7月14日(月) 5人 9月25日(木) 6人
11月10日(月) 4人 1月29日(木) 13人
会場 保健福祉センター セミナー室(5月12日、7月14日、11月10日)、
西北コミュニティセンター 講義室(9月25日)、UR寝屋川団地集会所(1月29日)
参加数 35人
内容 介護予防サポーターとは
講師 京都光華女子大学 教授 石井 祐理子 氏 (5月、7月、11月開催)
事務局職員(9月、1月開催)

(4) 登録サポーター実力向上研修の開催(開催回数:2回)

登録者を対象としてサポーター活動のスキルアップを図ることを目的に開催しました。

開催日 8月5日(火)
会場 保健福祉センター 多目的ホール
参加数 17人
内容 「健康長寿のためのフレイル予防」
～健康寿命をのばすためにできる生活のひと工夫～
講師 千成ヤクルト販売株式会社マーケティング・コミュニケーション部
鍵田 麻帆 氏

開催日 12月19日(金)
会場 保健福祉センター 多目的ホール
参加数 19人
内容 「笑いヨガ」
～今年の疲れを笑いでカラダケア～
講師 NPO 法人ラフターヨガジャパン
笑いヨガティーチャー 前中尾 絵梨香 氏

(5) サポーター・受入施設 活動相談会の開催(開催回数:1回)

サポーターと受入施設が情報、意見等を交換し、サポーター活動の活性化を図ることを目的に開催しました。

開催日 10月8日(水)
会場 保健福祉センター 健康指導室 A・B
参加数 登録サポーター 6人
参加施設 9施設
内容 ・参加される受入施設から活動紹介
・登録サポーターと受入施設が個別に活動相談

(6) 登録サポーター交流会の開催(開催回数:2回)

サポーター同士の交流と親睦を深めることを目的に開催しました。

開催日 6月26日(木)

会場 保健福祉センター 多目的ホール

参加数 22人

内容 サポーター表彰式、講義「サポーターによる活動発表」

講師 アコーディオン奏者 菅原 史子 氏

開催日 11月19日(水)

会場 保健福祉センター 多目的ホール

参加数 28人

内容 体力測定、講義「くすりの正しい使い方」～正しく服用していますか?～

講師 医療法人和敬会 星田南病院薬剤部

主任 丸山 早斗 氏

(7)施設交流会(開催回数:1回)

受入施設同士の交流と意見交換を目的に開催しました。

開催日 5月22日(木)

会場 保健福祉センター 健康指導室A・B

参加数 10施設

内容 意見交換「施設側から見た“現状”」

事務局からの提案「登録サポーターの現状」

(8)サポーター☆ステップアップ教室(開催回数:5回)

登録者を対象に、今後の活動を発展させるためのスキルアップ研修を行いました。

開催日 5月22日(木) 16人 7月14日(月) 13人 9月2日(火) 15人

11月19日(水) 20人 1月16日(金) 14人

会場 保健福祉センター 健康指導室A・B(5月、9月、1月)、研修室5(7月、11月)

内容 大人のぬり絵

講師 臨床美術士 吉井 真紀 氏

(9)需給調整

相談	調整	成立	不成立
48(△14)	4(△11)	25(1)	3(△1)

(10)介護予防ポイント転換交付金の交付

交付金人数	124人(-)
延べ活動日数	4,291日(264)
ポイント転換金額	798,200円(2,800)

13. 救急医療情報キット普及事業 <市からの受託事業>

ひとり暮らし高齢者に救急医療情報などを記載した用紙を収納する「命のカプセルあんしん」を配付しました。そして、毎年春に行うひとり暮らし高齢者調査に伴う訪問の際に、定期情報更新を行いました。

【キット配付・情報更新件数】

キット配付数	708	個
情報更新件数	7,832	件

14. 福祉総合相談事業

市民からのさまざまな相談や地域の支援に応じ、福祉サービスや関係機関との連携、各種社会資源へのつなぎ等を行い、問題の解決・改善を図りました。

【個人を支える社協の取り組み】

個別支援	移送サービス事業実施件数	1,415	件
	外出援助サービス事業実施件数	3,521	件
	元気アップ介護予防ポイント事業	1,534	件
	各地区まちかど福祉相談活動件数	567	件
	車イス貸出件数	367	件
	個別ケース総合相談件数(実数)	109	件*内訳別掲
	個別ケース総合相談件数(延べ)	1,881	件 *頻数表
	電話・メール	内訳 (1,420)	件
	訪問	内訳 (335)	件
	来所	内訳 (126)	件
	緊急時安否確認(かぎ預かり)事業契約件数	87	件
	生活困窮者自立支援事業相談件数	5,928	件
	生活福祉資金貸付事業相談件数	772	件
	日常生活自立支援事業相談件数	1,972	件
	個別支援件数	18,153	件(3,208)

【地域を支える取り組み】

地域支援	各校区福祉委員会などの会議参加数	424	件
	各校区ボランティア部会への支援件数	116	件
	地域支援総合相談件数(延べ)	2,694	件 *頻数表
	福祉教育実施	84	件
	地域支援件数	3,318	件(2,491)

(参考)地域支援頻度	1月あたり	276	回
	1月の地域担当ひとりあたり	46	回

個別支援および地域支援 合計件数 21,471 件(5,699)

事務支援	ボランティア保険事務	総合保険	182	件
		行事保険	903	件
		加入者数	2,592	人

※個別ケース総合相談 内訳概要(実相談者数:109 件、延べ相談件数:506 件)

どこから	来所	60	電話、メール など	334	訪問	112
------	----	----	--------------	-----	----	-----

相談者は	本人	216	家族	40	福祉委員会	42
	関係機関	152	知人など	56		

この内容は (複数回答あり)	見守り活動	70	ボランティア 活動	32	個別ケース調 整	335	社協の他の 取り組み	27
	介護・ 健康など	88	障害・ 健康など	163	乳幼児児童・ 健康など	19	生活費など	131
	近隣のこと	36	法律に関す ること	27	生き方につい て	120	その他	29

対応 (相談者別)	終了	76	支援継続中	33
--------------	----	----	-------	----

対応の内容は (複数回答あり)	福祉関係機関や福祉委員会と協議し、制度の活用や取り組みを検討した 又は、図った						297
	情報提供を行い、対応手順を示した。又は、共に対処した						200
	傾聴を行った						214

支援形態は (複数回答あり)	支援機関は明らかだが、CSWが支援した (他機関との連携、共同支援)						145
	主たる支援機関が未確定のため、CSWが支援した (切れ目なく支援を継続するため)						285
	制度のはざまを補うため、CSWが支援した (支援者の増援を求めるため)						237

15. 赤い羽根共同募金事業

市政協力委員自治推進協議会や民生委員児童委員協議会、地域貢献委員会加入施設等の協力のもと、多くの市民の理解と参加の促進を図り、10月に赤い羽根共同募金運動を実施しました。

重点項目	評価(成果と効果)
1. 新たな募金活動の実施	1. テーマ型募金を令和8年1月1日から3月15日の間で実施しました
2. 効果的な広報活動の展開	2. 今年度より募金箱設置施設を拡大しました

(1)赤い羽根共同募金実績額

①募金実績額

(単位:円)

募金種別	7年度実績額	6年度実績額	前年度比
戸別募金	10,066,829	10,674,454	△607,625
事業所募金	493,915	419,529	74,386
学校募金	88,594	65,926	22,668
職域募金	68,572	71,589	△3,017
街頭募金	85,286	82,967	2,319
バッジ募金	428,000	417,500	10,500
その他(※)	253,451	141,058	112,393
計	11,484,647	11,873,023	△388,376

※社会福祉施設等に設置している募金箱など

②校区福祉委員会別募金額

(単位:円)

校区	戸別募金	事業所募金	バッジ募金	計
池田	472,027	—	—	472,027
石津	127,916	—	—	127,916
宇谷	245,871	—	14,000	259,871
神田	414,274	18,000	—	432,274
北	601,262	—	—	601,262
木田	354,238	79,200	—	433,438
楠根	147,740	—	7,500	155,240
国松緑丘	349,522	—	—	349,522
啓明	410,902	340	7,500	418,742
木屋	466,277	4,000	25,000	495,277
桜	299,937	51,500	—	351,437
点野	454,622	24,000	1,000	479,622
成美	606,081	76,300	4,000	686,381
田井	318,237	12,600	—	330,837
第五	1,620,949	16,000	79,000	1,715,949

校区	戸別募金	事業所募金	バッジ募金	計
中央	459,532	27,600	—	487,132
西	285,021	10,000	—	295,021
望が丘	355,648	—	—	355,648
東	415,304	—	—	415,304
堀溝	622,470	4,300	—	626,770
三井	206,095	—	7,000	213,095
南	529,507	6,000	—	535,507
和光	303,397	4,000	—	307,397
計	10,066,829	333,840	145,000	10,545,669

(2)テーマ型募金実績額

テーマ「障害のある人が災害時に安心して生活を送るための募金活動」

期 間 令和8年1月1日～3月15日

(単位:円)

募金種別	実績額
個人による募金	21,500
事業所募金	—
職域募金	35,876
PayPay 募金	4,500
その他(※)	107,596
計	169,472

※社会福祉施設等に設置している募金箱など

16. 歳末たすけあい運動事業

市政協力委員自治推進協議会など関係機関の協力や地域貢献委員会の施設、公立小中学校や保育所等に募金箱の設置協力を得ながら実施し、各種の地域福祉事業・活動の増進を図りました。また、12月1日には市内各地で街頭募金を実施しました。

重点項目	評価(成果と効果)
1. 協力事業者や募金箱設置箇所の拡充 2. 配分先や配分額等についての見直し	1. 市内私立学校へ協力依頼を行いました。 2. 配分計画案について検討し、校区福祉委員会や福祉団体、ボランティアグループ、こども食堂実施団体へ配分しました。

(1) 募金実績額

(単位：円)

募金区分	7年度実績額	6年度実績額	前年度比
戸別募金	9,773,761	10,139,208	△365,447
事業所募金	541,100	650,760	△109,660
街頭募金	196,054	204,068	△8,014
その他	222,105	234,958	△12,853
計	10,733,020	11,228,994	△495,974

※「その他」は一般個人や団体、募金箱

(2) 校区福祉委員会別募金額

(単位：円)

校区	戸別募金額	事業所募金額	計
池田	551,069	－	551,069
石津	134,667	－	134,667
宇谷	255,385	6,500	261,885
神田	391,921	20,000	411,921
北	599,999	19,200	619,199
木田	319,658	115,200	434,858
楠根	127,727	－	127,727
国松緑丘	344,094	－	344,094
啓明	407,269	50,500	457,769
木屋	404,900	21,000	425,900
桜	296,444	44,500	340,944
点野	434,772	－	434,772
成美	535,845	33,000	568,845
田井	292,428	10,600	303,028
第五	1,754,091	56,000	1,810,091
中央	505,883	21,500	527,383
西	274,989	73,000	347,989

校区	戸別募金額	事業所募金額	計
望が丘	322, 995	-	322, 995
東	406, 797	-	406, 797
堀溝	427, 682	48, 100	475, 782
三井	215, 808	-	215, 808
南	477, 360	17, 000	494, 360
和光	291, 978	5, 000	296, 978
計	9, 773, 761	541, 100	10, 314, 861

(3) 配分実績

① 地域福祉活動に対する配分	9, 649, 143 円
② 災害ボランティアセンター備品整備	599, 500 円
計	10, 248, 643 円

*[地域福祉活動に対する配分]の詳細は次のとおり

【校区福祉委員会】

(単位：円)

校区	計
池田	466, 160
石津	235, 440
宇谷	282, 160
神田	362, 720
北	588, 680
木田	356, 440
楠根	182, 160
国松緑丘	327, 280
啓明	341, 840
木屋	404, 680
桜	348, 440
点野	370, 360
成美	340, 000
田井	360, 960
第五	790, 760
中央	469, 280
西	281, 560
望が丘	536, 920
東	473, 560
堀溝	278, 480
三井	331, 320
南	384, 920

校区	計
和光	431,080
計	8,945,200

【当事者や家族の福祉団体】

(単位：円)

団 体 名	計
寝屋川市身体障害者福祉会	44,585
寝屋川市障害児者を守る親の会	32,367
寝屋川市肢体不自由児(者)父母の会	23,129
寝屋川市障朋会	26,407
寝屋川市精神障害者家族会みつわ会	21,639
寝屋川市母子寡婦福祉会	40,115
寝屋川市原爆被害者の会	31,175
全国膠原病友の会大阪支部寝屋川会	23,576
計	242,993

【ボランティアセンター登録団体】

(単位：円)

団 体 名	計
アスパラの会	16,940
うきうきわくわく音心の会	4,235
MOA 健康生活ねやがわネットワーク	12,100
園芸福祉ボランティア らぶ	25,445
活動ネットワーク北河内傾聴ボランティア「14の耳」	9,680
擬似体験ボランティアグループ うらしまさん	25,445
くりつくねっと☆	20,000
車椅子ダンス「さくら草」	4,235
京阪ナツメロ愛好会	16,940
げんき会	1,815
写仏愛好会	4,840
手話サークル ひびき	7,260
チーム・ウェルビーイング(WB)	23,630
天満天神の会	24,200
点訳ボランティア つくしの会	25,445
とれぶりんか	33,880
日曜大工ボランティア とんかちクラブ	3,025
寝屋川さくらねこの会	13,915
寝屋川市身体障害者福祉会 視覚部	23,630

団 体 名	計
寝屋川市民たすけあいの会	30,250
ねやがわペアレントトレーニング	2,420
要約筆記サークル バンビ	3,630
ブリッジこだま	7,260
ボランティア・みい	9,680
昔あそびボランティア WAKUWAKU さん	20,000
篠笛 柚子華	6,050
計	375,950

【寝屋川市介護者の会】

(単位：円)

団 体 名	計
寝屋川市介護者の会	-

【こども食堂実施団体】

(単位：円)

団 体 名	計
NPO 法人芽ばえ 子ども食堂ひまわり	一律 5,000 円分 クオカード
かやしまこども食堂	
みんなでつくる学校とれぶりんか	
NPO 法人 香里ふれ愛ハウス	
子ども食堂 たけのこ	
A 岩崎家 子ども食堂	
しめの子ども食堂	
みんなの緑町子ども食堂	
晴°れっと耕夢てん 子ども食堂晴°れっと	
GOFARBANK	
SHO-HEI!子ども食堂	
寝屋川聖和福祉会 こども食堂ゆりかご	
和光校区福祉委員会子ども食堂	
なるみちゃん食堂	
宇谷食堂	
社会福祉法人 真清福祉会	
かえで保育園 かえでごはん	
神田校区福祉委員会 スマイルかみだ	
計	85,000

17. 広報事業

市民に福祉サービスや福祉の情報を伝えることで、地域福祉に関心を持ち、理解が得られるよう工夫しさまざまな方法で情報発信を行いました。

重点項目	評価(成果と効果)
市民に向けてわかりやすく福祉・ボランティア情報を提供	わかりやすく、読みやすい内容をこころがけ、情報発信しました。

(1) 機関紙の発行

① 機関紙「虹」の発行(発行:4回)

号/発行日 (部数)	主な内容
171号 5月1日 (116,000)	- 得意な日曜大工でふだんの暮らしを支えます - こんにちは 地域支え合い推進員です - 令和7年度事業計画 重点目標 - 校区福祉委員会活動紹介～堀溝校区～ - 暮らしにくさをたくさんの支援機関で支える仕組みが始まります - いろいろなハラスメントを学ぶ 福祉従事者向け研修会を開催 - 働くための準備を応援します～就労準備支援事業・献血だより - 急募 運転ボランティア募集中
172号 8月1日 (117,000)	- 第2回ぼらぽこどもまつり 開催します 65歳からの地域デビューのあゆみ - 校区福祉委員会活動紹介～点野校区～ - 家計改善についての支援 住居確保給付金の紹介・善意銀行だより - 献血だより・共同募金による配分決定・役員改選のお知らせ - 新会長あいさつ・令和6年度事業決算報告 - 災害ボランティア講座・災害ボランティア事前登録のお知らせ - 運転協力者認定講習会
173号 11月1日 (117,000)	- 歳末たすけあい運動 - 第2回ぼらぽこどもまつり報告・かぎ預かり事業 - 校区福祉委員会活動紹介～三井校区～ 65歳からの地域デビューのあゆみ・教育支援資金 - 善意銀行だより・寄贈について - 献血だより・傾聴基礎講座参加者募集 - 介護予防サポーター募集

号/発行日 (部数)	主な内容
174 号 2 月 1 日 (117,000)	・ 災害に備えた地域づくり ・ 令和 8 年度社会福祉協議会会員募集のご案内 ・ 共同募金テーマ型募金の実施案内・令和 7 年度募金実績報告 ・ 校区福祉委員会活動紹介～和光校区～ ・ 65 歳からの地域デビューのあゆみ ・ 生活困窮者自立支援事業・日常生活自立支援事業 ・ 善意銀行だより・献血だより ・ 「もっと広がれボランティア」フェスタ案内

② 広報編集委員会の開催（開催回数：9 回）

本会機関紙「虹」発行のために広報編集委員会を開催しました。（主な案件：紙面内容の検討）

開催日及び参加数 5 月 22 日(木)7 人、6 月 27 日(金)2 人、7 月 1 日(火)4 人、
 8 月 21 日(木)6 人、9 月 25 日(木)5 人
 11 月 20 日(木)4 人、12 月 24 日(水)6 人
 2 月 20 日(金)4 人、3 月 27 日(金)4 人

③ 福祉広報研修会の開催（開催回数：1 回）

開催日 3 月 6 日(金)

会 場 市民会館 研修室

参加数 23 人

内 容 【講義】「光、構図、視点」等について

 【実習】スマートフォンを使って撮影及び編集

講 師 小黒 恵太朗 氏（ひとへや代表／フォトグラファー）

(2) ホームページの運営

ボランティアグループくりっくねっと☆の定例会時に更新、その他必要に応じて更新しました。

寝屋川市社会福祉協議会 ホームページ

<https://www.neyagawa-shakyo.or.jp>

(3) SNS ページの運営

Instagram、Facebook、X の公式ページを活用し、地域福祉活動や社会福祉協議会の取り組みなどの情報を随時発信しました。

Instagram

<https://www.instagram.com/neyagawashishakyo/>

フォロワー数:1,934(451)



Facebook

<https://fb.me/NeyagawashiShakyo>

フォロワー数:661(12)



X

<https://x.com/NeyagawaShakyo>

フォロワー数:229(21)



18. 調査・研究事業

(1) ひとり暮らし高齢者調査の実施

本会・校区福祉委員会と民生委員児童委員協議会が共催で、65歳以上のひとり暮らし高齢者数の調査を行いました。

[4月1日現在]

校区	65～74歳		75歳以上		計		ひとり暮らし 高齢者総数
	男	女	男	女	男	女	
池田	29	24	80	257	109	281	390(△10)
石津	6	11	21	89	27	100	127(△6)
宇谷	14	44	33	147	47	191	238(△1)
神田	11	25	39	195	50	220	270(4)
北	24	32	66	250	90	282	372(△30)
木田	27	56	62	242	89	298	387(△21)
楠根	7	14	22	89	29	103	132(△4)
国松緑丘	2	10	31	170	33	180	213(△21)
啓明	40	41	64	232	104	273	377(△4)
木屋	16	28	57	198	73	226	299(△9)
桜	21	28	70	219	91	247	338(△27)
点野	45	83	85	268	130	351	481(6)
成美	14	11	60	280	74	291	365(△34)
田井	18	40	77	212	95	252	347(8)
第五	27	92	72	337	99	429	528(△40)
中央	19	32	58	228	77	260	337(△11)
西	17	49	40	170	57	219	276(△15)
望が丘	16	35	57	289	73	324	397(△7)
東	17	25	45	155	62	180	242(3)
堀溝	11	19	36	122	47	141	188(△7)
三井	32	69	131	396	163	465	628(△21)
南	27	47	125	292	152	339	491(△3)
和光	32	38	96	243	128	281	409(13)
計(人)	472	853	1,427	5,080	1,899	5,933	7,832 (△237)

ひとり暮らし高齢者数の内訳		
入院者	未記入者	記入者数
9	22	359
3	4	120
2	21	215
3	23	244
6	8	358
10	28	349
1	8	123
8	—	205
10	44	323
6	7	286
3	11	324
6	53	422
9	1	355
5	24	318
5	65	458
8	18	311
6	23	247
16	1	380
8	16	218
3	8	177
9	32	587
6	9	476
11	21	377
153 (△4)	447 (△45)	7,232 (△188)

(2) 緊急時安否確認に関する状況把握の実施

地域における孤立死の状況や異変の発見時や緊急対応時の問題点を明らかにするために状況調査を行いました。

① 校区別孤立死等の発見状況

校区	生前に発見	死後に発見	計
池田	-(△1)	-(△1)	-(△2)
石津	-(-)	1(△1)	1(△1)
宇谷	2(2)	2(-)	4(2)
神田	1(-)	2(2)	3(2)
北	1(-)	2(-)	3(-)
木田	-(-)	1(△2)	1(△2)
楠根	-(-)	1(-)	1(-)
国松緑丘	-(-)	-(△1)	-(△1)
啓明	-(△1)	-(-)	-(△1)
木屋	-(△1)	1(-)	1(△1)
桜	-(-)	2(2)	2(2)
点野	-(-)	-(△2)	-(△2)
成美	-(-)	2(1)	2(1)
田井	-(-)	-(-)	-(-)
第五	1(△1)	3(1)	4(-)
中央	-(-)	1(△2)	1(△2)
西	-(-)	1(1)	1(1)
望が丘	-(-)	1(-)	1(-)
東	-(-)	1(-)	1(-)
堀溝	1(1)	-(△1)	1(-)
三井	-(-)	1(△1)	1(△1)
南	-(-)	4(-)	4(-)
和光	-(-)	-(-)	-(-)
計(人)	6(△1)	26(△4)	32(△5)

② 対象者の年齢

年齢	生前に発見	死後に発見	計
50 歳未満	-(-)	-(-)	-(-)
50 歳以上～65 歳未満	-(-)	1(△2)	1(△2)
65 歳以上～75 歳未満	2(2)	5(4)	7(6)
75 歳以上	4(△3)	19(△7)	23(△10)
不詳	-(-)	1(1)	1(1)
計	6(△1)	26(△4)	32(△5)

③ 発見者

発見者	生前に発見	死後に発見	計
家族・親族	-(-)	3(△1)	3(△1)
近隣住民	1(△1)	11(-)	12(△1)
友人・知人	3(3)	1(△1)	4(2)
福祉委員(民生委員含む)	-(△2)	2(1)	2(△1)
自治会役員	-(-)	-(△1)	-(△1)
新聞・宅配業者	1(1)	5(2)	6(3)
福祉サービス関係者	1(△2)	1(△3)	2(△5)
その他	-(-)	3(△1)	3(△1)
計	6(△1)	26(△4)	32(△5)

④ 発見までの日数(死後発見のみ)

発見までの日数	件数
死亡当日～死後1日	2(△3)
死後2日～3日	5(△5)
死後4日～7日	9(5)
死後8日以上	7(2)
死後不詳	3(△3)
計	26(△4)

⑤ かぎ預かり利用契約の有無

かぎ預かり事業契約有無	生存	死亡	計
有り	1(-)	1(△7)	2(△7)
無し	5(△1)	25(3)	30(2)
計	6(△1)	26(△4)	32(△5)

19. 生活困窮者自立支援事業 <市からの受託事業>

生活困窮者自立支援法に基づき、自立相談支援事業、住居確保給付金、就労準備支援事業を実施。経済的困窮のみならず、ひきこもりや様々な事情で生活に困っている世帯に支援を行いました。

重点項目	評価(成果と効果)
1. 居住支援相談の実施 2. 生きづらさのある相談者が安心できる地域の居場所を作る取り組みの推進	1. 住居確保給付金(転居費用補助)について申請を3件受付し、住まいの相談では、連携できる居住支援法人を拡充し対応しました。 2. 拠点となる居場所について情報収集を行いました。

(1) 自立相談支援事業

支援プランを作成し計画的な支援を行いました。

① 問合せ・相談件数

相談件数	5,928(△478)
相談者数	818(81)

② 相談方法

相談経路	件数
電話	3,269(△760)
来所	1,927 (△138)
アウトリーチ等	732 (420)
計	5,928(△478)

③ 相談者

相談者	件数
本人	4,402(△803)
家族・知人	467(△44)
関係機関	976(393)
福祉委員・民生委員	10(△22)
その他	73(△2)
計	5,928(△478)

④ 相談内容(重複有)

相談内容	件数
生活費・医療費等の支払い、仕事・収入	1,379(△424)
公的資金の貸付	1,982(△816)
住居確保給付金	267(△67)
就労・就労準備相談	621(△153)
家族・近隣等の関係(ひきこもりの相談を含む)	332(1)
住まいに関する相談(*)	241
緊急支援・制度について・その他(生活保護を含む)	2,137(825)
計	6,959(△393)

* 令和7年度から追加

⑤ 対応

対応	件数
終了	2,094(23)
継続	3,834(△501)
計	5,928(△478)

⑥ 法に基づく事業等による支援の内訳(⑥、⑦、⑨、⑩厚労省支援システムから支援状況)

支援決定・確認件数 349 件(△128)

⑦ 支援内容(重複有)

内容	件数
住居確保給付金	38(3)
シェルター事業(居住支援事業)	11(△2)
地域居住支援事業(居住支援事業)	-(-)
就労準備支援事業	14(△7)
家計改善支援事業	10(8)
認定就労訓練(中間的就労)	-(△2)
自立相談支援事業による就労支援	294(△128)
生活福祉資金による貸付	36(1)
生活保護受給者等就労自立促進事業	37(△14)
その他社協の事業による支援	93(1)
地域貢献委員会による支援	-(-)

* その他社協の事業による支援・・・生活緊急支援金の給付 善意銀行の食品等の払出し

⑧ 支援調整会議の開催(開催回数:12回)

ケース会議で検討・共有したケースから、プラン検討協議や共有、終結等を保護課と枚方ハローワークとで月1回開催。また、各機関の情報交換などを行いました。

開催日・人数	内容
4月23日(水)・5人	[1]R7年3月～R8年2月までの新規相談実績について [2]プランの状況 [3]保護課より情報提供 [4]枚方ハローワークより情報提供(セミナー情報提供など) [5]生活困窮者法律相談の実績報告 [6]住居確保給付金の状況についてプランの状況
5月28日(水)・5人	
6月25日(水)・7人	
7月23日(水)・6人	
8月27日(水)・5人	
9月24日(水)・6人	
10月22日(水)・7人	
11月26日(水)・6人	
12月17日(水)・5人	
1月28日(水)・5人	

開催日・人数	内容
2月25日(水)・6人	
3月25日(水)・6人	

⑨ 評価結果

プラン内訳	件数
支援調整会議におけるプラン協議	755(△131)
内訳 新規・再プラン	349(△132)
評価し再プラン	151(△44)
評価し終結	255(45)

⑩ 就労等に関する支援状況

新たに就労した人数	28(△1)
転職・雇用条件の改善によって増収した人数	7(△1)

⑪ 生活困窮者自立支援相談事業(法律相談)

大阪弁護士会による法律相談を月1回定例実施。弁護士の来所による相談だけでなく、電話やメールなどでの相談や弁護士事務所の同行なども行いました。

相談者実人数	18(△10)														
相談件数	23(△8)														
相談内容 (重複有)	<table> <tr> <td>借金(自己破産等)</td><td>16(-)</td></tr> <tr> <td>家事(離婚、家屋処分等)</td><td>1(1)</td></tr> <tr> <td>住宅(立ち退き、強制執行等)</td><td>2(△1)</td></tr> <tr> <td>労働(解雇、賃金未払い等)</td><td>-(△3)</td></tr> <tr> <td>後見(申立て、申立て見込み等)</td><td>-(△5)</td></tr> <tr> <td>近隣(トラブル等)</td><td>-(△3)</td></tr> <tr> <td>その他(詐欺対応、相続放棄等)</td><td>7(△3)</td></tr> </table>	借金(自己破産等)	16(-)	家事(離婚、家屋処分等)	1(1)	住宅(立ち退き、強制執行等)	2(△1)	労働(解雇、賃金未払い等)	-(△3)	後見(申立て、申立て見込み等)	-(△5)	近隣(トラブル等)	-(△3)	その他(詐欺対応、相続放棄等)	7(△3)
借金(自己破産等)	16(-)														
家事(離婚、家屋処分等)	1(1)														
住宅(立ち退き、強制執行等)	2(△1)														
労働(解雇、賃金未払い等)	-(△3)														
後見(申立て、申立て見込み等)	-(△5)														
近隣(トラブル等)	-(△3)														
その他(詐欺対応、相続放棄等)	7(△3)														

(2) 住居確保給付金事業

離職などにより住まい(賃貸住宅等)を失うおそれのある世帯に対し、家賃相当額を期限付きで支給(市が決定可否を行う)しました。また、家計改善支援事業による支援の結果として転居することが妥当だと判断された世帯に対し、転居費用相当額を支給(市が決定可否を行う)しました。

① 家賃補助

項 目	相談・問合せ件数	申請件数	決定件数
初回	152	18(△4)	19(△1)
延長	37	6(△3)	6(△2)
再延長	25	4(△1)	4(-)
計	214(△120)	28(△8)	29(△3)

*前年度申請分含む

支給回数(回)	83(△1)
総額(円)	3,107,400(△401,800)

② 転居費用補助 *令和7年度より開始

項 目	相談・問合せ件数	申請件数	決定件数
計	34	2	2

総額(円)	285,000
-------	---------

(3)就労準備支援事業

日常生活における自立、地域社会への参加及び就労に向けた準備として、社会体験、職場体験の場など支援プログラムを作成し支援を実施し、社会参加、就労に向けた支援を行いました。

① 支援プログラム内容及び回数

支援対象(人)	6(△1)
内容	【個人活動】 ・ 作業体験(木工等製作作業、事務作業体験、精米作業) ・ コミュニケーショントレーニング ・ 就労継続支援事業所などへの体験入所 ・ 面談による就労意欲喚起や所作確認 ・ 事業所面接を想定した面接練習 ・ 一般企業、事業所による就労体験支援 ・ 支援ツールの利用による生活習慣把握 ・ ノートパソコンでの業界研究資料作成、発表 ・ パソコンスキルの習得 【グループ活動】 ・公園にて写真撮影会 ・地域のカフェでの写真発表会 ・外部講師(A'ワーク創造館)による講座の受講 ・活動内容を決めるミーティングの実施 計 163 回(△75)

20. 生活福祉資金貸付事業＜府社協からの受託事業＞

低所得者世帯等に対し、経済的自立及び生活意欲や社会参加の促進等を図ることを目的に、民生委員の協力を得て資金貸付の相談を行いました。

重点項目	評価(成果と効果)
1. 経済的に支援が必要な世帯への貸付制度の周知及び丁寧な対応 2. 特例貸付借受人(免除決定、償還猶予、未応答者など)への相談支援	生活困窮者自立支援事業と連携を図りながら、貸付の手続きや償還の相談に対して、必要な支援を丁寧に行いました。

(1)実績状況

資金種類	相談件数	申請件数	決定件数	貸付決定額(円)
緊急小口資金	190(18)	36(△1)	26(△3)	2,150,000 (△448,000)
総合支援資金	8(△48)	-(△4)	-(△2)	-(△900,000)
臨時特例つなぎ資金	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
福祉費	568(△229)	生活必需品(注) 51(13)	46(10)	3,818,000 (1,323,000)
		福祉費 7(1)	7(3)	4,141,000 (910,000)
教育支援費		生活保護世帯 16(△9)	15(△10)	9,178,000 (△8,386,000)
		低所得世帯 19(-)	16(△3)	9,491,000 (132,000)
不動産担保型生活資金	6(1)	一般 -(-)	-(-)	-(-)
		要保 -(△1)	-(△1)	-(△3,684,000)
計	772(△258)	129(△1)	110(△6) *前年度申請分含む	28,778,000 (△11,053,000)

(注)生活必需品とは、生活保護世帯を対象に健康管理や日常生活に著しい支障をきたす場合において、エアコンや冷蔵庫等の生活必需品を購入するための貸付金

(2)新型コロナウイルス感染症特例貸付の償還に関するフォローアップ

特例貸付の償還が困難である利用者に対し、償還に関する相談を受け、必要な支援を行っています。また、資金貸付や生活困窮での相談者に対し、特例貸付利用の有無を確認し、手続き・支援を促しました。

① 償還についてのフォローアップ実施状況

(免除、猶予等手続き支援)

支援内容 (重複有り)	区分	償還免除 ・ 償還完了	償還中 ・ 償還猶予中	滞納	未応答	実施件数
相談対応		727	425	143	19	1,314
償還に係る支援 (償還猶予、償還免除など)		-	868	53	25	946
生活困窮者支援		214	125	56	13	408
アウトリーチによる支援		185	297	58	15	555
計		1,126	1,715	310	72	3,223

(相談への促し支援)

・ 償還を猶予するにあたり、市社協による猶予申請受付件数 16 件(△84)

(3)教育支援資金の案内チラシの配付

教育支援資金の内容や手続きの方法について周知を図るため、市内 12 中学校に協力を依頼し、中学 3 年生生徒に教育支援資金の案内チラシを配布しました。

実施回数:1 回

配布数:2,000 部

21. 生活緊急支援金給付事業

歳末たすけあい運動の募金を財源に、必要やむを得ない緊急的かつ一時的な理由によって、生活の維持が困難な世帯に対し、支援金の給付と相談援助等の支援を行いました。

重点項目	評価(成果と効果)
税金や保険等の窓口である市や関係機関への周知	関係機関配付用の事業資料を作成し、保護課へ周知しました。

(1) 生活緊急支援金の給付

① 給付件数及び金額

給付件数	3(△5)
給付金額(円)	83,718 (△69,102)

② 生活困窮のおもな原因

失業	就労収入 減少	年金等 収入減少	疾病	扶養援助 喪失	その他	計
-(△1)	-(△2)	-(-)	3(2)	-(-)	-(△4)	3(△5)

③ 世帯人員の状況

単身	2人	3人	4人	5人以上	計
1(△5)	1(△1)	-(-)	-(-)	1(1)	3(△5)

④ 申請者の年齢状況

20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
-(-)	-(-)	1(△2)	-(-)	-(△2)	-(△2)	2(1)	-(-)	3(△5)

⑤ 原資の状況

項目	件数	金額
1.前年度末原資残高		3,621,589 円
2.緊急支援金給付金支出	3 件	83,718 円
3.歳末たすけあい募金助成金収入	-件	-円
4.指定寄附金収入	-件	-円
5.利息収入	2 件	7,310 円
3 月末時点原資残高(1-2+5)		3,545,181 円

22. 日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業)＜府社協からの受託事業＞

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など判断能力が十分ではない方々に対して、日常的な金銭管理、福祉サービスの利用援助などの支援を行いました。

重点項目	評価(成果と効果)
1.事業について関係機関の理解を深め連携を進める取り組み 2.待機者の解消を視野に入れた、利用相談体制の強化	1.地域ケア会議での事業説明や、介護支援事業所で行われる学習会へ資料提供等を行いました。 2.年度当初の利用待機者は 40 人でしたが3月末は7人になりました。

(1) 契約件数および支援回数

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
前年度末契約数(A)	13(△3)	28(△4)	68(5)	109(△2)
新規契約数(B)	6(-)	2(2)	8(△1)	16(1)
契約終了数(C)	5(△4)	2(△2)	12(8)	19(2)
契約数(A)+(B)-(C)	14(1)	28(-)	64(△4)	106(△3)
支援回数	262(51)	676(△135)	1,952(△283)	2,890(△367)
契約準備数	-(△2)	1(1)	-(△2)	1(△3)

※契約準備数は3月末時点より、2ヵ月後までに契約締結見込数

(2) 新規契約の相談経路

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
介護事業所	5(-)	-(-)	1(-)	6(-)
障害福祉課・保護課	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
保健所	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
医療機関	-(-)	-(-)	1(1)	1(1)
障害者支援機関	-(-)	2(2)	2(△5)	4(△3)
地域包括支援センター	1(-)	-(-)	-(-)	1(-)
社会福祉協議会	-(-)	-(-)	1(1)	1(1)
家族・本人	-(-)	-(-)	3(2)	3(2)
計	6(-)	2(2)	8(△1)	16(1)

(3) 契約終了の理由内訳

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
死亡	3(△2)	-(-)	3(2)	6(-)
成年後見人等が就任	-(△3)	1(1)	2(2)	3(-)
家族等管理	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
施設入所に伴い施設管理等	1(1)	-(△1)	1(-)	2(-)
転居に伴い支援社協変更	-(-)	-(△2)	1(1)	1(△1)
自己都合	1(-)	1(-)	5(3)	7(3)
計	5(△4)	2(△2)	12(8)	19(2)

(4) 利用者に対する支援実施状況

① サービス別利用状況

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
利用援助サービス	-(-)	-(-)	1(-)	1(-)
利用援助サービス+金銭管理	14(1)	21(△1)	60(△3)	95(△3)
利用援助サービス+預かりサービス	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
利用援助サービス+金銭管理+預かりサービス	-(-)	7(1)	3(△1)	10(-)
計	14(1)	28(-)	64(△4)	106(△3)

② 性別・世帯状況・生活の場所

区分		認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
性別	男性	10(-)	16(1)	39(△4)	65(△3)
	女性	4(1)	12(△1)	25(-)	41(-)
世帯	単身者	13(-)	22(1)	61(△3)	96(△2)
	夫婦	-(-)	2(-)	-(-)	2(-)
	その他	1(1)	4(△1)	3(△1)	8(△1)
生活の場所	在宅	5(1)	18(△1)	39(△1)	62(△1)
	グループホーム	2(-)	7(-)	11(△2)	20(△2)
	福祉施設	6(-)	2(-)	9(2)	17(2)
	病院	1(-)	1(1)	5(△3)	7(△2)

※福祉施設：特別養護老人ホーム、住宅型有料老人ホーム、サービス付高齢者住宅

③ 経済状況

区分		認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
経済状況	生活保護世帯	12(-)	15(△1)	50(-)	77(△1)
	所得税非課税世帯	2(1)	12(1)	14(△3)	28(△1)
	所得税課税世帯	-(-)	1(-)	-(△1)	1(△1)

④ 支援計画に基づく1か月あたりの支援回数

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
週1回以上	1(1)	4(-)	24(△3)	29(△2)
月1回	10(△2)	13(1)	33(3)	56(2)
隔週	2(2)	6(△1)	5(△3)	13(△2)
月2回	1(-)	4(-)	1(△1)	6(△1)
2か月に1回	-(-)	1(-)	1(-)	2(-)
計	14(1)	28(-)	64(△4)	106(△3)

(5) 利用者に関する相談・問合せ件数

① 相談・問合せ方法

電話	来所	訪問	計
1,875(△179)	78(△27)	19(△4)	1,972(△210)

② 相談経路内訳

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
本人	48(16)	357(△27)	1,137(△194)	1,542(△205)
家族	5(△1)	9(△6)	47(8)	61(1)
知人	-(△1)	-(△1)	-(△1)	-(△3)
民生委員・児童委員	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
介護保険施設	13(△14)	4(-)	13(7)	30(△7)
その他福祉施設	4(2)	17(5)	36(△8)	57(△1)
専門相談機関	30(15)	20(6)	70(△6)	120(15)
行政	7(△5)	6(5)	18(△12)	31(△12)
医療機関	7(-)	1(-)	37(△18)	45(△18)
その他	17(6)	29(18)	40(△4)	86(20)
計	131(18)	443(-)	1,398(△228)	1,972(△210)

③ 相談・問合せ内容(重複回答あり)

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
福祉サービス利用援助	31(9)	165(13)	449(△174)	645(△152)
日常的な金銭管理	90(30)	295(△68)	1,091(△100)	1,476(△138)
書類などの預かり	2(△3)	1(1)	5(△5)	8(△7)
その他生活相談	92(23)	304(63)	857(△131)	1,253(△45)
成年後見制度関連	1(△12)	1(-)	2(△3)	4(△15)
計	216(47)	766(9)	2,404(△413)	3,386(△357)

(6) 事業問合せ件数・利用待機者数

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	計
事業問合せ件数	13(△7)	11(9)	26(14)	5(2)	55(18)
利用待機者数	4(△11)	1(△3)	2(△27)	-(-)	7(△41)

23. 善意銀行事業

市民・団体から寄せられた金品を預かり、必要としている方へ払い出しを行いました。

重点項目	評価(成果と効果)
市民および関係機関への周知	機関紙「虹」に、毎号記事を掲載することで、市民から問合せがありました。 周知により、地域貢献委員会や寝屋川市フードドライブから定期的に食品が預託されています。

(1) 預託・払出の状況

① 現金預託・払出の実施状況

預託 4 件 預託金額 1,434,635 円(1,218,433 円)

払出 2 件 払出金額 1,105,000 円(918,798 円)

※3 月 31 日現在の残高金額 365,082 円(330,007 円)

② 物品預託・払出の実施状況

	預託者	件数	点数	主な品名
預託	市民	21(△27)	30(△56)	物品 11 件 車いす、介護用杖、日用品、靴下、肌着、介護用品、調理器具、手押し車
	団体	16(4)	50(-)	
	地域貢献委員会	29(△22)	58(△55)	
	企業	16(2)	17(3)	食品 71 件 精米、長期保存米、缶詰、レトルト食品、加工食品、乾麺、飲料
	計	82(△43)	155(△108)	

	払出先	件数	点数	主な品名
払出	市民	108(△15)	315(△213)	物品 4 件 杖、日用品 食品 104 件 精米、長期保存米、缶詰、長期保存パン、レトルト食品、加工食品、乾麺、飲料
	計	108(△15)	315(△213)	

24. 法人運営・基盤強化事業

住民を主体とした地域福祉を推進する法人として、経営基盤・運営基盤の強化・発展を図りました。

重点項目	評価(成果と効果)
1. これからの地域福祉活動における法人の運営方法及び体制の見直し 2. 組織構成会員の拡充 3. 会員募集の実施方法の見直し（区分及び募集方法等） 4. 自主財源の確保に向けた取り組みの調査（遺贈寄付や広告収入等）	法人の運営体制について、理事会の定員や開催回数等及び会員募集の実施方法、自主財源確保におけるテーマ型募金取組実績等の状況把握のために他市社会福祉協議会への調査を行いました。また、その結果をもとに理事会開催回数の見直しや社協運営委員会において令和9年度会員募集の実施方法について検討しました。

(1) 法人運営事業

① 役員会の開催（開催回数：11回）

第1回 4月16日（水） 出席：役員3人

報 告

〔1〕事務局職員人事異動について

議 案

〔1〕第4次地域福祉活動計画策定委員会設置要綱について

〔2〕敬老記念式典における表彰者の推薦要領について

〔3〕まちかど福祉相談員養成研修会開催要項について

〔4〕運転協力者（福祉・セダン）認定講習会開催要項について

〔5〕ボランティア体験プログラム開催要項について

報 告

〔1〕会員募集中間報告について

〔2〕生活緊急支援金給付状況の報告について

〔3〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について

〔4〕後援承認について

〔5〕委員会報告

その他

〔1〕寝屋川市こども部子育て支援課より「ねやがわ子育てナビ」について（依頼）

第2回 5月9日（金） 出席：役員3人

議 案

〔1〕令和6年度事業報告認定について

〔2〕令和6年度社会福祉事業決算報告認定について

〔3〕第1回評議員会の開催について

〔4〕評議員候補者の評議員選任・解任委員会への推薦について

〔5〕区分5「有識者」の選任について

報 告

- 〔1〕 役員候補者の報告について
- 〔2〕 会長職務執行状況報告について（令和6年度下半期分）
- 〔3〕 緊急時安否確認に関する状況報告について
- 〔4〕 生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔5〕 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔6〕 後援承認について
- 〔7〕 委員会報告

第3回 6月18日（水） 出席：役員3人

議 案

- 〔1〕 顧問の選任について
- 〔2〕 各種専門委員会委員の選任について
- 〔3〕 退任者への感謝状等の贈呈について
- 〔4〕 赤い羽根共同募金運動実施要項について
- 〔5〕 災害ボランティア養成講座開催要項について
- 〔6〕 敬老記念式典における表彰者の推薦について

報 告

- 〔1〕 赤い羽根共同募金配分申請受付について
- 〔2〕 ひとり暮らし高齢者数について
- 〔3〕 生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔4〕 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔5〕 後援承認について

第4回 7月16日（水） 出席：役員3人

議 案

- 〔1〕 退任者への感謝状等の贈呈について
- 〔2〕 共同募金テーマ型募金の実施要項について
- 〔3〕 歳末たすけあい運動実施要項について

報 告

- 〔1〕 敬老記念式典における表彰者の決定について
- 〔2〕 今後の理事会等の予定について
- 〔3〕 生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔4〕 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔5〕 後援承認について
- 〔6〕 委員会報告

第5回 9月11日(木) 出席：役員3人

議 案

〔1〕 退任者への感謝状等の贈呈について

報 告

〔1〕 今後の理事会等の予定について

〔2〕 生活緊急支援金給付状況の報告について

〔3〕 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について

〔4〕 後援承認について

〔5〕 委員会報告

第6回 10月15日(水) 出席：役員3人

報 告

〔1〕 事務局職員人事発令について

議 案

〔1〕 歳末たすけあい運動募金配分計画について

〔2〕 校区福祉委員会指導者研修会について

〔3〕 ボランティア講座開催要項について

〔4〕 令和8年度社会福祉協議会会員募集実施要項について

報 告

〔1〕 会長職務執行状況報告について(4月～9月分)

〔2〕 赤い羽根共同募金運動街頭募金の実績報告について

〔3〕 緊急時安否確認に関する状況報告について

〔4〕 生活緊急支援金給付状況報告について

〔5〕 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について

〔6〕 後援承認について

〔7〕 委員会報告

第7回 11月10日(月) 出席：役員3人

議 案

〔1〕 中間監査報告について

〔2〕 社会福祉事業補正予算(第1号)について

〔3〕 ボランティア講座シニア編について

報 告

〔1〕 赤い羽根共同募金運動実績報告について

〔2〕 生活緊急支援金給付状況の報告について

〔3〕 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について

〔4〕 後援承認について

〔5〕 委員会報告

第8回 12月10日（水） 出席：役員3人

議 案

- 〔1〕社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事務局職員給与規程の一部改正について
- 〔2〕福祉広報研修会開催について
- 〔3〕まちかど福祉相談員現任研修会開催要項について
- 〔4〕子育てサロン担当者交流会開催要項について

報 告

- 〔1〕歳末たすけあい運動の街頭募金実績報告について
- 〔2〕生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔3〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔4〕後援承認について
- 〔5〕委員会報告

第9回 1月23日（金） 出席：役員3人

議 案

- 〔1〕令和8年度ひとり暮らし高齢者調査実施要項について
- 〔2〕今後の理事会の開催について

報 告

- 〔1〕歳末たすけあい運動の街頭募金実績報告について
- 〔2〕生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔3〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔4〕後援承認について
- 〔5〕委員会報告

第10回 2月13日（金） 出席：役員3人

議 案

- 〔1〕令和8年度新規事業（法人後見事業）について
- 〔2〕令和8年度福祉学習説明会開催要項について
- 〔3〕ボランティアポイント（ぼらポ）モデル事業の取り扱いについて

報 告

- 〔1〕令和8年度地域献血日程について
- 〔2〕生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔3〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔4〕後援承認について
- 〔5〕委員会報告

第11回 3月4日（水） 出席：役員3人

議 案

- 〔1〕社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会定款の一部変更について

- 〔2〕社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事務局組織及び職員設置規程の一部改正について
 - 〔3〕社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事務局職員給与規程の一部改正について
 - 〔4〕社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事務局職員の育児休業等に関する規程の一部改正について
 - 〔5〕社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事務局職員就業規則の一部改正について
 - 〔6〕社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会契約職員就業規則の一部改正について
 - 〔7〕令和8年度事業計画について
 - 〔8〕令和8年度社会福祉事業予算について
 - 〔9〕第2回評議員会の開催について
 - 〔10〕役員等賠償責任保険契約内容の決議について
 - 〔11〕社会福祉基金の運用について
 - 〔12〕第4次寝屋川市地域福祉活動計画について
- 報 告
- 〔1〕役員候補者の報告について
 - 〔2〕令和8年度年間行事予定について
 - 〔3〕生活緊急支援金給付状況の報告について
 - 〔4〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
 - 〔5〕後援承認について
 - 〔6〕委員会報告

② 理事会の開催（開催回数：10回）

第1回 4月23日（水） 出席：理事18人・監事2人

報 告

- 〔1〕事務局職員人事異動について

議 案

- 〔1〕第4次地域福祉活動計画策定委員会設置要綱について
- 〔2〕敬老記念式典における表彰者の推薦要領について
- 〔3〕まちかど福祉相談員養成研修会開催要項について
- 〔4〕運転協力者（福祉・セダン）認定講習会開催要項について
- 〔5〕ボランティア体験プログラム開催要項について

報 告

- 〔1〕会員募集中間報告について
- 〔2〕生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔3〕善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔4〕後援承認について
- 〔5〕委員会報告

その他

- 〔1〕寝屋川市こども部子育て支援課より「ねやがわ子育てナビ」について（依頼）

第2回 5月23日（金） 出席：理事18人・監事2人
議 案

- 〔1〕 令和6年度事業報告認定について
- 〔2〕 令和6年度社会福祉事業決算報告認定について
- 〔3〕 第1回評議員会の開催について
- 〔4〕 評議員候補者の評議員選任・解任委員会への推薦について
- 〔5〕 区分5「有識者」の選任について

報 告

- 〔1〕 役員候補者の報告について
- 〔2〕 会長職務執行状況報告について（令和6年度下半期分）
- 〔3〕 緊急時安否確認に関する状況報告について
- 〔4〕 生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔5〕 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔6〕 後援承認について
- 〔7〕 委員会報告

臨時 6月13日（金） 出席：理事23人・監事2人
議 案

- 〔1〕 会長・副会長の選定について

第3回 6月25日（水） 出席：理事17人・監事2人
議 案

- 〔1〕 顧問の選任について
- 〔2〕 各種専門委員会委員の選任について
- 〔3〕 退任者への感謝状等の贈呈について
- 〔4〕 赤い羽根共同募金運動実施要項について
- 〔5〕 災害ボランティア養成講座開催要項について
- 〔6〕 敬老記念式典における表彰者の推薦について

報 告

- 〔1〕 赤い羽根共同募金配分申請受付について
- 〔2〕 ひとり暮らし高齢者数について
- 〔3〕 生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔4〕 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔5〕 後援承認について

第4回 7月23日（水） 出席：理事20人・監事1人
議 案

- 〔1〕 退任者への感謝状等の贈呈について
- 〔2〕 共同募金テーマ型募金の実施要項について
- 〔3〕 歳末たすけあい運動実施要項について

報 告

- 〔1〕 敬老記念式典における表彰者の決定について
- 〔2〕 今後の理事会等の予定について
- 〔3〕 生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔4〕 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔5〕 後援承認について
- 〔6〕 委員会報告

第5回 10月22日（水） 出席：理事19人・監事2人

報 告

- 〔1〕 事務局職員人事発令について

議 案

- 〔1〕 歳末たすけあい運動募金配分計画について
- 〔2〕 校区福祉委員会指導者研修会について
- 〔3〕 ボランティア講座開催要項について
- 〔4〕 令和8年度社会福祉協議会会員募集実施要項について

報 告

- 〔1〕 退任者への感謝状等の贈呈について
- 〔2〕 会長職務執行状況報告について（4月～9月分）
- 〔3〕 赤い羽根共同募金運動街頭募金の実績報告について
- 〔4〕 緊急時安否確認に関する状況報告についてについて
- 〔5〕 生活緊急支援金給付状況報告について
- 〔6〕 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔7〕 後援承認について
- 〔8〕 委員会報告

第6回 11月28日（金） 出席：理事19人・監事2人

報 告

- 〔1〕 中間監査報告について

議 案

- 〔1〕 社会福祉事業補正予算（第1号）について
- 〔2〕 ボランティア講座シニア編について

報 告

- 〔1〕 赤い羽根共同募金運動実績報告について
- 〔2〕 生活緊急支援金給付状況報告について
- 〔3〕 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔4〕 後援承認について
- 〔5〕 委員会について

第7回 12月17日（水） 出席：理事22人・監事1人

議 案

- 〔1〕 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事務局職員給与規程の一部改正について
- 〔2〕 福祉広報研修会開催について
- 〔3〕 まちかど福祉相談員現任研修会開催要項について
- 〔4〕 子育てサロン担当者交流会開催要項について

報 告

- 〔1〕 歳末たすけあい運動の街頭募金実績報告について
- 〔2〕 生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔3〕 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔4〕 後援承認について
- 〔5〕 委員会報告

その他

- 〔1〕 Club E&T より「第10回寝屋川ハート・アート展」のチラシ配布について（依頼）

第8回 2月19日（木） 出席：理事20人・監事1人

議 案

- 〔1〕 今後の理事会の開催について
- 〔2〕 令和8年度ひとり暮らし高齢者調査実施要項について
- 〔3〕 令和8年度新規事業（法人後見事業）について
- 〔4〕 令和8年度福祉学習説明会開催要項について
- 〔5〕 ボランティアポイント（ぼらポ）モデル事業の取り扱いについて

報 告

- 〔1〕 歳末たすけあい運動実績報告について
- 〔2〕 令和8年度地域献血日程について
- 〔3〕 生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔4〕 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔5〕 後援承認について
- 〔6〕 委員会報告

第9回 3月11日（水） 出席：理事17人・監事2人

議 案

- 〔1〕 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会定款の一部変更について
- 〔2〕 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事務局組織及び職員設置規程の一部改正について
- 〔3〕 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事務局職員給与規程の一部改正について
- 〔4〕 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事務局職員の育児休業等に関する規程の一部改正について

- 〔5〕 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事務局職員就業規則の一部改正について
- 〔6〕 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会契約職員就業規則の一部改正について
- 〔7〕 令和 8 年度事業計画について
- 〔8〕 令和 8 年度社会福祉事業予算について
- 〔9〕 第 2 回評議員会の開催について
- 〔10〕 役員等賠償責任保険契約内容の決議について
- 〔11〕 社会福祉基金の運用について
- 〔12〕 第 4 次寝屋川市地域福祉活動計画について

報 告

- 〔1〕 役員候補者の報告について
- 〔2〕 令和 8 年度年間行事予定について
- 〔3〕 生活緊急支援金給付状況の報告について
- 〔4〕 善意銀行預託払い出し及び福祉基金の状況について
- 〔5〕 後援承認について
- 〔6〕 委員会報告

③ 評議員会の開催（開催回数：2 回）

第 1 回 6 月 13 日（金）出席：評議員 31 人・理事 22 人・監事 2 人

報 告

- 〔1〕 事務局職員人事異動について

議 案

- 〔1〕 令和 6 年度社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事業報告承認について
- 〔2〕 令和 6 年度社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会社会福祉事業決算報告承認について

【令和 6 年度監査報告】

- 〔3〕 役員の選任について

報 告

- 〔1〕 緊急時安否確認に関する状況報告について

第 2 回 3 月 30 日（月）出席：評議員 32 人・理事 17 人・監事 1 人

議 案

- 〔1〕 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会社会福祉補正予算（第 1 号）について
- 〔2〕 社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会定款の一部変更について
- 〔3〕 令和 8 年度社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会事業計画について
- 〔4〕 令和 8 年度社会福祉法人寝屋川市社会福祉協議会社会福祉事業予算について
- 〔5〕 役員の選任について
- 〔6〕 第 4 次寝屋川市地域福祉活動計画について

報 告

- 〔1〕 令和 8 年度年間行事予定・地域献血日程について

④ 役員・評議員候補者選任区分別会議の開催（開催回数：4回）

役員・評議員退任に伴い、区分別会議を開催しました。

【区分1】校区福祉委員会

【区分2】住民代表・関連分野・団体

【区分3】福祉専門機関・団体

【区分4】当事者組織

⑤ 評議員選任・解任委員会の開催（開催回数：1回）

定款に基づき、評議員選任・解任委員会を設置し、評議員の選任を行いました。

第1回 6月4日（水） 出席：3人

⑥ 社協運営委員会の開催（開催回数：5回）

社協の運営にかかわる諸問題のうち、会長が運営委員会での検討を要すると認めた事項について、その課題解決の方向性等について検討し、必要に応じて役員会に報告又は提案を行います。

第1回 9月24日（水） 出席：4人

議案

- 〔1〕 正副委員長の選出について
- 〔2〕 歳末たすけあい運動募金の配分について
- 〔3〕 会員募集について
- 〔4〕 その他

第2回 10月22日（水） 出席：3人

議案

- 〔1〕 令和9年度会員募集について
- 〔2〕 その他

第3回 11月28日（金） 出席：4人

議案

- 〔1〕 令和9年度会員募集について
- 〔2〕 その他

第4回 12月17日（水） 出席：3人

議案

- 〔1〕 令和9年度会員募集について
- 〔2〕 社会福祉基金の運用について
- 〔3〕 その他

第5回 令和8年2月19日(木) 出席:4人

議案

- [1] 令和9年度会員募集について
- [2] その他

⑦ 組織構成会員募集の実施

地域の各種団体や福祉関係者の参加を得て地域福祉活動を広範にすすめていくために組織構成会員を募集し、156の団体や施設の加入がありました。

(2) 地域貢献委員会等の運営支援

組織構成会員の社会福祉法人46団体で構成される地域貢献委員会の事務局を担い、運営の支援を行っています。

① 総会の開催

7月10日(木) 書面決議

承認46票・不承認1票

議案

- [1] 令和6年度事業報告について
- [2] 令和6年度決算報告について
- [3] 令和6年度会計監査報告
- [4] 令和7年度事業計画(案)について
- [5] 令和7年度予算(案)について
- [6] 会則の一部改正について
- [7] 令和7年度役員改選について

② 四役会の開催(開催回数:2回)

第1回 4月21日(月) 出席:4人

- [1] 令和7年度総会について
- [2] フードドライブ活動の発展をはじめとする大阪しあわせネットワークの取り組みについて
- [3] 福祉教育への支援について
- [4] アウトリーチ研修の講師選定企画について
- [5] 令和7年度会費納入について
- [6] その他

第2回 3月11日(水) 出席:2人

- [1] 令和8年度総会について
- [2] 大阪しあわせネットワーク助成金の使途について

③ 役員会の開催(開催回数：2回)

第1回 7月18日(金) 出席：10人

- [1] 令和7年度の体制について
- [2] 幹事の役割について

第2回 2月26日(木) 出席：7人

- [1] 令和8年度総会について
- [2] 令和7年度事業報告、決算および令和8年度事業計画、予算
- [3] フードドライブ活動の発展をはじめとする大阪しあわせネットワークの取り組みについて
- [4] その他

④ 幹事会の開催(開催回数：3回)

第1回 7月18日(金) 出席：7人

- [1] 幹事の役割分担について
- [2] 福祉教育について
- [3] アウトリーチ研修について

第2回 8月22日(金) 出席：4人

- [1] アウトリーチ研修の開催および講師選定について

第3回 1月21日(水) 出席：3人

- [1] 令和7年度アウトリーチ研修会 アンケート集約報告
- [2] 令和7年度アウトリーチ研修会 精算報告
- [3] 令和7年度アウトリーチ研修ふりかえり
- [4] 令和8年度アウトリーチ研修 実施内容検討
- [5] その他

⑤ 研修会の実施(開催回数：1回)

アウトリーチ研修

地域貢献委員会会員施設職員を対象に、当事者性の理解を目指し、利用者や相談者と共に社会福祉援助を実践することを目的に開催しました。

実施日 12月16日(火)

会場 市民会館 講義室

内容 「こうのとりのゆりかごから始まる第2の人生」

講師 こうのとりのゆりかご当事者 宮津 航一 氏

参加者 52人

⑥ フードドライブ活動取り組み実績

取り組み施設 11 事業所

品 目 精米、レトルト粥、インスタント食品、缶詰、レトルト食品、ペット
ボトル飲料、長期保存パン、長期保存米、乳児用粉乳 など 178 品目

(3) 高齢者施設協議会の運営支援

高齢者福祉施設を運営する社会福祉法人 16 法人で構成される高齢者施設協議会の運営支援を行いました。

① 総会の開催

開催日 6 月 23 日(月) 20 人(13 法人)

会 場 市民会館 研修室

内 容 [1]令和 7 年度 寝屋川市高齢者施設協議会事業計画
[2]令和 7 年度 寝屋川市高齢者施設協議会事業予算
[3]令和 6 年度 寝屋川市高齢者施設協議会事業報告
[4]令和 6 年度 寝屋川市高齢者施設協議会事業決算

② 例会の開催（開催回数：2 回）

第1回

開催日 6 月 23 日(月) 20 人(13 法人)

内 容 [1]「LET'S EXPO」事業について
[2]市監査について
[3]完調品(完全調理済み食品)の活用に関する事業説明と試食会

第 2 回

開催日 1 月 26 日(月)18 人(11 法人)

内 容 [1]介護人材確保に関する施策の情報提供
[2]令和 7 年度補正予算令和 8 年度臨時改定への対応について

(4) 財源確保事業

① 会員募集の実施

[1] 住民賛助会費 14,588,437 円 (△ 837,109 円) (令和 8 年 3 月 31 日時点)

〈住民賛助会員：会員区分別金額・口数表〉

(単位：円)

区分	一 般	特 別	賛 助	特別賛助	名 誉	特別名誉	協力費	計
金額	7,083,500	610,000	150,000	201,000	340,000	380,000	5,823,937	14,588,437
口数	14,167	610	75	67	68	38		15,025

〈校区福祉委員会別実績〉

(単位：円)

校 区	令和 7 年度	令和 6 年度	比較増減
池 田	802, 205	848, 268	△ 46, 063
石 津	113, 282	131, 102	△ 17, 820
宇 谷	271, 352	276, 564	△ 5, 212
神 田	500, 050	547, 980	△ 47, 930
北	1, 153, 336	1, 085, 439	67, 897
木 田	666, 245	714, 913	△ 48, 668
楠 根	175, 700	175, 321	379
国松緑丘	610, 972	588, 380	22, 592
啓 明	608, 992	642, 883	△ 33, 891
木 屋	685, 559	704, 500	△ 18, 941
桜	619, 119	640, 015	△ 20, 896
点 野	575, 622	673, 523	△ 97, 901
成 美	998, 665	1, 150, 151	△ 151, 486
田 井	489, 046	480, 280	8, 766
第 五	2, 222, 200	2, 280, 335	△ 58, 135
中 央	613, 178	638, 400	△ 25, 222
西	477, 351	488, 648	△ 11, 297
望 が 丘	353, 421	369, 410	△ 15, 989
東	483, 368	714, 729	△ 231, 361
堀 溝	714, 789	757, 106	△ 42, 317
三 井	197, 119	236, 886	△ 39, 767
南	718, 333	727, 928	△ 9, 595
和 光	471, 220	503, 920	△ 32, 700
そ の 他	67, 313	48, 865	18, 448
計	14, 588, 437	15, 425, 546	△ 837, 109

〔2〕 組織構成会員会費 705, 000 円 (5, 000 円)

(法人 116 その他組織団体 31 : 計 147 事業所・団体)

② その他財源確保に関する取り組みの実施・調査・研究

〔1〕 福祉基金(目標額：3 億円)

令和6年度末の福祉基金額 268,808,243 円

令和7年度基金の積立額 1,220,817 円 (利息 539,897 円)

令和8年3月末の福祉基金額 270,029,060 円

〔2〕 一般寄附金

令和 7 年度の寄附金額 115, 705 円 (寄附件数 9 件)

〔3〕 調査・研究

赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金等他市の取組等聞き取りを行いました。

(5) 研修事業

地域福祉を推進するため最新の福祉施策や制度・サービス、地域福祉活動の動向を学び、本市の地域福祉活動に活かすことを目的に研修会に参加しました。

① 役員（理事・監事）・評議員研修

〔1〕 苦情解決第三者委員研修会

開催日 12月5日(金)

会 場 大阪社会福祉指導センター

内 容 講義「苦情解決のしくみと第三者委員の役割について」
実践報告「第三者委員の仕組みの活用」
グループワーク

参加数 2人

②職員研修

〔1〕 総務課、地域福祉課、生活支援課共通

No.	研修名（内容）	日数	参加人数
1	寝屋川市新規採用職員研修	5	4
2	市町村社協新任職員研修会	5	4
3	新入職員のためのサービスマナーセミナー	1	4
4	会計管理者・担当者研修会	1	1
5	第39回日本地域福祉学会	2	1
6	地域福祉のコーディネーター基礎研修	5	3
7	豊中市型コミュニティソーシャルワーカー実践研修会	2	2
8	全国福祉教育推進員研修会	2	2
9	大阪災害支援ネットワーク研修会	1	1
10	日常生活自立支援事業 新任者研修会	2	1
11	生活困窮者自立支援事業 主任相談支援員初任者研修	3	1
12	ひきこもり支援セミナー	1	3
13	共同募金担当者研修会	2	4
14	苦情解決第三者委員研修会	1	1
15	労働セミナー	1	1
16	社会福祉法人会計の簿記入門初級講座	7	1
17	生活困窮者自立支援制度人材養成研修 相談支援員初任者研修	2	1

No.	研修名（内容）	日数	参加人数
18	生活困窮者相談に役立つ法律の基礎（入門編）	1	1
19	生活困窮者相談に役立つ法律の基礎（アドバンス編）	1	1
20	生活保護受給者等就労自立促進事業にかかるオンライン研修	1	2
21	居住支援事業支援員初任者研修	2	1
22	後見人等への意思決定支援研修	1	1
23	日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会	2	1
24	権利擁護に係る意思決定支援研修会	1	1
25	大阪府生活困窮者自立支援制度人材養成研修	1	1
26	コロナ特例貸付担当者研修会	1	1
27	生活支援課職員研修	1	17
28	健康保険委員研修会	1	1
29	生活福祉資金担当者研修会	1	1
30	交野市広報研修会	1	1
31	市町村社協災害担当職員会議	1	1
32	市町村社協中堅職員研修	1	1
33	地域福祉コーディネータースキルアップ研修専門研修Ⅰ	1	1
34	地域福祉コーディネータースキルアップ研修専門研修Ⅱ	1	1
35	地域福祉コーディネータースキルアップ研修専門研修Ⅲ	1	1
36	移送送迎支援活動セミナー	1	2
37	小地域ネットワークリーダー研修会	1	2
	計	65	74

(6) 実習生の受入れ

社会福祉士資格取得を目指す学生の受入れを行いました。

大阪公立大学	1人
武庫川女子大学	1人
関西大学	1人
大阪人間科学大学	1人
龍谷大学	1人
東京通信大学	1人
計	6人

(7)オープンカンパニーの受入れ

社会福祉協議会の活動の理解と関心を持ってもらうため、大阪府社会福祉協議会と連携して、オープンカンパニー(大学生)の受入れを行いました。

佛教大学	3 人
大阪公立大学	1 人
	計 4 人

(8)視察受入れ

佐世保市社会福祉協議会	まちかど福祉相談所、ボランティアポイント(ぼらぽこどもまつり)
相生市社会福祉協議会	緊急時安否確認(かぎ預かり)事業
伊賀市社会福祉協議会	緊急時安否確認(かぎ預かり)事業
岸和田市社会福祉協議会	緊急時安否確認(かぎ預かり)事業
鹿児島県社会福祉協議会	緊急時安否確認(かぎ預かり)事業

25. 大阪府共同募金会寝屋川地区募金会の運営

赤い羽根共同募金運動の実施、共同募金配分申請の受付事務等を行いました。

(1) 寝屋川地区募金会理事会の開催（開催回数：4回）

第1回 6月25日（水）出席：理事17人・監事2人

議案

〔1〕赤い羽根共同募金運動実施要項について

報告

〔1〕赤い羽根共同募金配分申請受付について

第2回 7月23日（水）出席：理事20人・監事1人

議案

〔1〕共同募金テーマ型募金の実施要項について

第3回 10月22日（水）出席：19人・監事2人

報告

〔1〕赤い羽根共同募金運動街頭募金の実績報告について

第4回 11月28日（金）出席：19人・監事2人

報告

〔1〕赤い羽根共同募金運動実績報告について

(2) 共同募金配分申請の受付

共同募金配分申請について周知し、施設・団体等から申請の受付を行いました。

周知 機関紙「虹」（5月1日号）

受付件数 2件

(3) 共同募金配分決定

令和7年度赤い羽根共同募金運動の実績をもとに、大阪府共同募金会の審査を経て、令和8年3月に配分先を決定しました。

〔1〕赤い羽根共同募金による配分（総件数：1件 9,883,727円）

① 社会福祉協議会（1件 9,883,727円）

《主な使途》

機関紙「虹」の発行、校区福祉委員会が取り組む地域福祉活動の支援、ひとり暮らし高齢者調査など

〔2〕NHK 歳末たすけあいによる配分（1件 80,000円）

① 月の輪学院 80,000円

26. 地域福祉活動計画の推進

「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指し、市民や団体等によるさまざまな福祉活動の計画的な推進を図る第3次地域福祉活動計画「未来福祉ねやがわプラン」を推進しました。

(1) 地域福祉活動計画推進委員会の開催（開催回数：1回）

第1回 10月24日(金)13人出席

- 〔1〕 第3次地域福祉活動計画の推進及び評価について
- 〔2〕 第4次地域福祉活動計画策定に向けてのとりまとめ
- 〔3〕 今後のスケジュール

27. 地域福祉活動計画の策定

「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指し、市民や団体等によるさまざまな福祉活動の計画的な推進を図る第4次地域福祉活動計画「みんなで創るみらいフクシねやがわ」を策定しました。

(1) 地域福祉活動計画策定委員会の開催（開催回数：4回）

第1回 7月25日(金)12人出席

- 〔1〕 委嘱状の交付、自己紹介
- 〔2〕 委員長・副委員長の選出
- 〔3〕 地域福祉活動計画について
- 〔4〕 第4次地域福祉活動計画策定について

第2回 12月4日(木)14人出席

- 〔1〕 第1回策定委員会ふりかえり
- 〔2〕 団体ヒアリング状況報告
- 〔3〕 第1回推進委員会、ミライがたりシート集計報告及び意見交換
- 〔4〕 第4次計画の骨子案の提案及び検討

第3回 1月21日(水)11人出席

- 〔1〕 第2回策定委員会ふりかえり
- 〔2〕 団体ヒアリング状況報告
- 〔3〕 第4次地域福祉活動計画(素案)の検討
- 〔4〕 今後のスケジュール

第4回 2月27日(金)12人出席

- 〔1〕 第3回策定委員会ふりかえり
- 〔2〕 第4次地域福祉活動計画(最終案)の提案及び検討

(2) ヒアリングの実施

計画を通じていっそう連携をひろげて取り組んでいきたいテーマに関わる活動や事業を行っている団体にヒアリングを実施しています。

〔1〕 実施時期 令和7年9月～12月

〔2〕 実施団体 7団体

実施日	団体名
9月1日（月）	校区福祉委員会（委員長協議会）
11月11日（火）	公立・私立高等学校の教職員
11月12日（水）	
11月12日（水）	大阪司法書士会
11月13日（木）	市民活動センター（推進委員会）
11月13日（木）	不登校児親の会、フリースクール
11月26日（水）	
11月19日（水）	ボランティアセンター（運営委員会）
12月15日～26日	寝屋川市商店連合会

